第２期
湯河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略プラン
事業検証（令和３年度実績）

〇基本目標１

湯河原町にしごとをつくり、町内で就労できるようにする

〇基本目標２

湯河原町への新しいひとの流れをつくる

〇基本目標３

結婚・出産・子育てしやすい環境をつくる

〇基本目標４

誰もが活躍できるまちづくりを進める

事業検証シート

まち・ひと・しごと創生を実現するため、各事業の KPI の達成度等により計画の進捗状況を客観的に点検・評価し、その後の取組みの改善につなげていくため、各事業の前年度の進捗状況等をまとめたものです。

第2期湯河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略プラン　掲載事業一覧

基本目標1　湯河原町にしごとをつくり、町内で就労できるようにする			
1－1　起業支援・企業誘致の推進			
No.	項目	総合評価	担当課
1	サテライトオフィス等の誘致	○	地域政策課／観光課
2	創業支援セミナーの開催	△	観光課
1－2　地域産業の活性化			
1	駅周辺（商店街等）の活性化	◎	観光課／地域政策課
2	ゆがわら認定産品制度	○	観光課
3	体験型農業事業の拡充	△	農林水産課
4	農林水産業の活性化	○	農林水産課
1－3　雇用支援と人材育成			
1	雇用確保支援	○	地域政策課／観光課
2	インターンシップ支援	△	地域政策課／観光課／農林水産課
3	グローバル人材育成	○	地域政策課
4	郷土愛を育む学習活動	○	学校教育課／社会教育課／こども支援課

基本目標2　湯河原町への新しいひとの流れをつくる			
2－1　関係人口の創出・拡大			
No.	項目	総合評価	担当課
1	ロケツーリズムの推進	○	観光課
2	万葉公園・周辺地区まちづくり	○	観光課
3	インバウンドの推進	○	観光課／地域政策課
4	町民向けセミナー・観光ツアーの開催	○	観光課
5	魅力ある地域資源の活用	○	観光課
6	文化と観光による地域再生	○	美術館
7	スポーツイベントの推進	△	社会教育課／地域政策課／観光課
8	スポーツ施設の整備	○	社会教育課／まちづくり課
2－2　移住・定住の促進			
1	湯河原町への移住PR	○	地域政策課
2	かながわ県西空き家バンクの活用	○	地域政策課
3	お試し移住の促進	△	地域政策課
4	休耕地の利活用	○	農林水産課／観光課
5	移住・定住者への補助	△	地域政策課
2－3　情報発信の強化			
1	湯河原温泉公式ホームページの活用	○	観光課
2	合宿等の誘致に向けた情報発信	△	地域政策課／観光課／農林水産課
3	多様な媒体による情報発信	◎	デジタル推進室／観光課／秘書広報室
4	街歩き情報配信サービスの促進	×	デジタル推進室／観光課

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

第2期湯河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略プラン　掲載事業一覧

基本目標3　結婚・出産・子育てしやすい環境をつくる			
3－1　結婚生活応援			
No.	項目	総合評価	担当課
1	結婚祝い金の支給	○	住民課
2	婚活イベントの開催	△	観光課／地域政策課
3－2　出産環境の充実			
1	安心して子どもを産める環境の整備	○	保健センター／消防本部
2	妊娠、出産へ向けた支援体制	○	保健センター／こども支援課
3	切れ目のない財政支援	○	こども支援課／保健センター
3－3　ゆがわらっこ育ての支援			
1	ファミリーサポートセンターの活用促進	○	こども支援課
2	利用しやすい保育所の運営	○	こども支援課
3	教育環境の整備	○	学校教育課
4	学童保育所や子ども教室の活用	○	社会教育課

基本目標4　誰もが活躍できるまちづくりを進める			
4－1　多世代交流・地域コミュニティ活動の推進			
No.	項目	総合評価	担当課
1	多世代交流による若者の人口減少抑制	○	こども支援課／地域政策課／介護課
2	子どもフォーラムの開催	○	学校教育課
3	外国人住民との交流推進	○	地域政策課
4－2　健康長寿社会の実現			
1	「未病を改善する」取組の推進	○	地域政策課／保健センター／介護課
2	介護予防サポーターの育成	◎	介護課
3	趣味、サークル活動の推進	△	介護課／社会福祉課
4	シルバー人材センターの活用	△	介護課
5	交通不便地域の解消	○	地域政策課／介護課／社会福祉課
4－3　安心・安全なくらしの確保			
1	地域会館を活用した遊び場づくり	○	社会福祉課／社会教育課
2	地域防災力の強化	○	地域政策課／消防本部

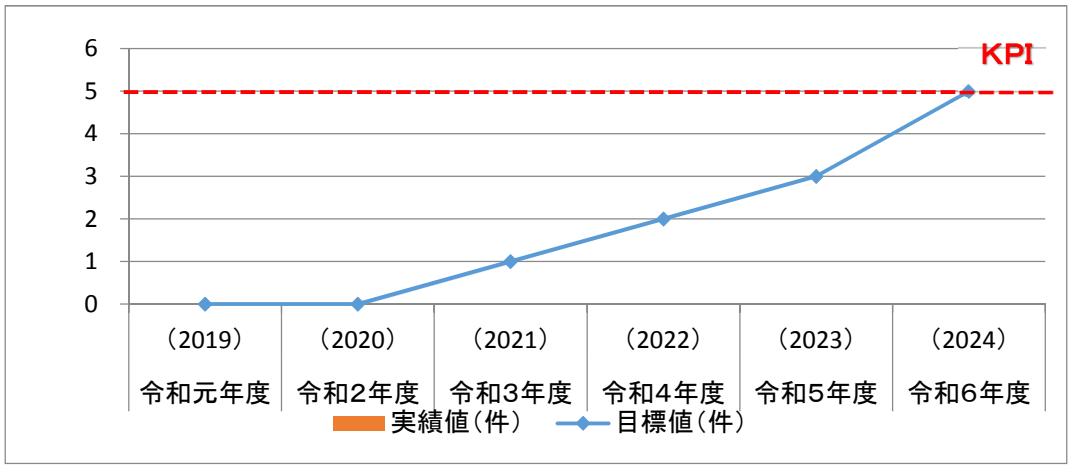
	◎	○	△	×	計
基本目標1	1	6	3	0	10
基本目標2	1	11	4	1	17
基本目標3	0	8	1	0	9
基本目標4	1	7	2	0	10
計	3	32	10	1	46

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標１ １－１（１）	サテライトオフィス等の誘致	担当課
概要	古民家や廃業施設を利用した事業所の誘致、複合商業施設や娯楽施設の誘致及びテレワークを推進しサテライトオフィスなどの企業誘致を実施する。	地域政策課 観光課

進捗状況	ＫＰＩ	誘致事業所数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 件
			目標値 令和６年度（2024）	５ 件



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（件）	0	0	1	2	3	5
実績値（件）	0	0	0	---	---	---
目標達成率	0.00%	0.00%	0.00%	---	---	---
ＫＰＩ評価	×	×	×			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・サテライトオフィス、コワーキングスペースについて、神奈川県内の行政が主体となって実施している事例の調査・研究を行った。 ・整備候補となる施設の検討をした。
分析 Check	・県内においては、行政が主体となって実施している事例が少ない。また、成功事例も少なく、地域に合った形での整備が必要。
今後の方向性 Action	・インターネットやコロナ禍でのテレワーク等の普及により、働き方に多様性が出てきているなか、サテライトオフィス、コワーキングスペースなどの整備に向け検討していく。 ・民間と連携するなどの検討が必要。

総合戦略会議 委員意見	

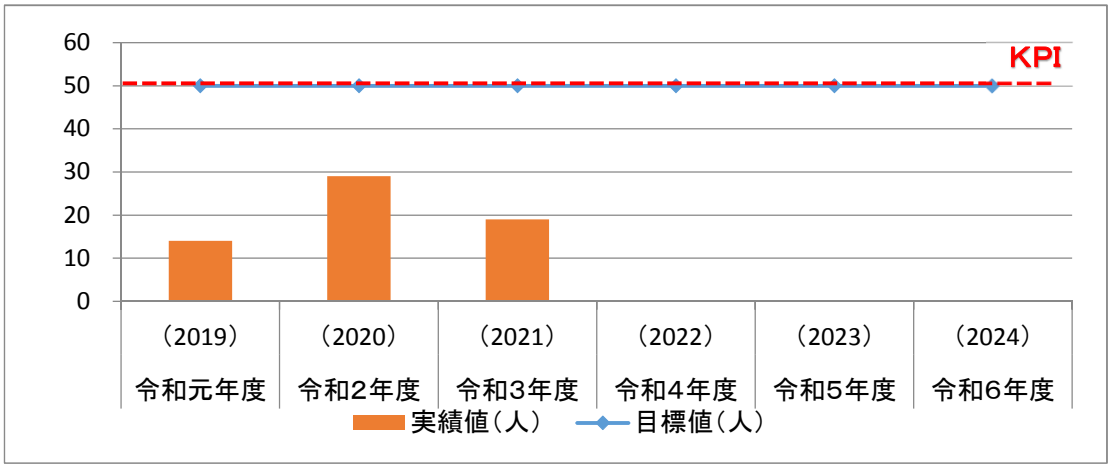
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標１ １－１（２）	創業支援セミナーの開催	担当課
概要	商工会などと連携し、町内での創業を目指す方に対し、創業に必要な基礎知識などを習得するためのセミナーを開催する。	観光課

進捗状況	ＫＰＩ	セミナー参加者数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	19 人
			目標値 令和６年度（2024）	50 人



	令和元年度（2019）	令和２年度（2020）	令和３年度（2021）	令和４年度（2022）	令和５年度（2023）	令和６年度（2024）
目標値（人）	50	50	50	50	50	50
実績値（人）	14	29	19			
目標達成率	28%	58%	38%			
ＫＰＩ評価	△	△	△			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・創業支援セミナーを３回開催（参加人数19人）
分析 Check	・町のメルマガを見て受講した方もいたが、ＰＲ不足が否めない。
今後の方向性 Action	・どれくらいの人が創業を考えているか未知数だが、継続することで町内での創業意欲の向上を図る。 ・産業競争力強化法に基づく「創業支援事業計画」の策定、認定を受ける必要がある。 ・セミナー後希望者には伴走型支援を実施する。
総合戦略会議 委員意見	

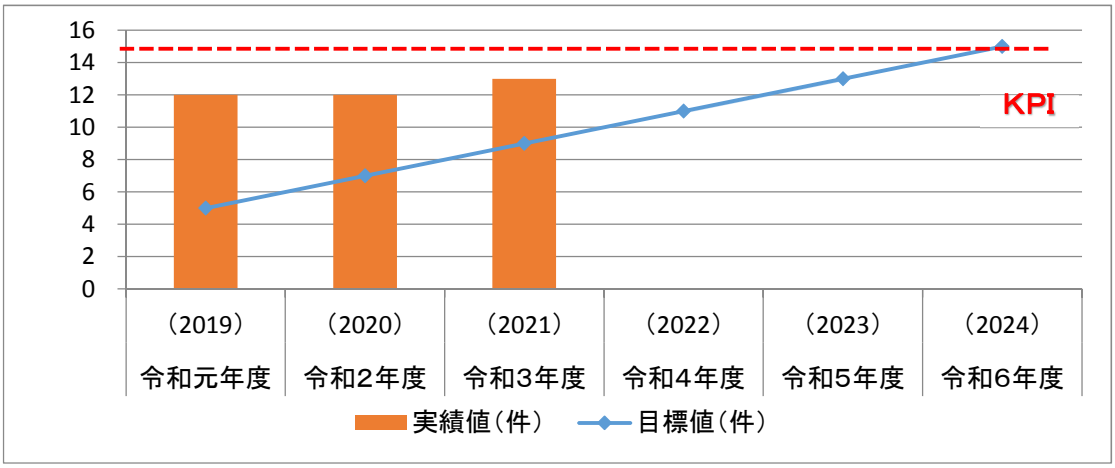
総合評価	△	取組の見直し

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標１ １－２（１）	駅周辺（商店街等）の活性化	担当課
概要	関係団体と連携して、湯河原駅周辺の商店街などを中心とする空き店舗を活用した新規開業支援、地場産品直売所の設置などによる活性化を促進する。	観光課 地域政策課

進捗状況	ＫＰＩ	駅前明店街での新規開業店舗数（年間累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	10 件
			目標値 令和６年度（2024）	15 件



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（件）	5	7	9	11	13	15
実績値（件）	12	12	13			
目標達成率	240%	240%	260%			
ＫＰＩ評価	◎	◎	◎			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・「ぶらん市」を２回開催した。 ・湯河原梅林「梅の宴」開催期に、「入園料キャッシュバック事業」を実施し、駅周辺商店街の活性化を図った。 （期間　２月５日～３月13日、参加店舗　33件、取扱件数　1,835件） ・駅前の空き店舗を町として借上げ、移住経験者が移住希望者に対して、ワーキング等を行った。また、その他の参加者と一緒に、今後の湯河原町の未来像についても討論を行い、コミュニティスペースとして確立することができた。
分析 Check	・年３回予定していたが、まん延防止等重点措置により「ぶらん市」は年２回しか実施が出来なかった。 ・「入園料キャッシュバック事業」の実施は年々利用者が増加しており、駅周辺店舗での消費に効果があった。 ・駅前で移住相談ができる場所やコミュニティスペースを開設することにより、人の流れを増やすことが可能となる。併せて駅前の活性化を図り、新規開業事業所を増加させる。 ・駅前の拠点としての働きもすることで、案内所としての役割も果たし、商店街の活性化を推進したい。
今後の方向性 Action	・駅周辺の活性化が進められていく中、今後は商店街の回遊・滞留時間増加へ寄与する取組をしていく。 ・シャッター街化している通りに新しい店舗を出店しやすい環境を整える。 ・設備の不良個所が目立つため、空き店舗のリノベーションを行い、誰もが気軽に足を運べる場所とする。 ・移住相談のみだけでなく、雇用相談や子どもの交流など、活用方法をより広範囲にし、町独自のコミュニティスペースとして確立させたい。

総合戦略会議 委員意見	

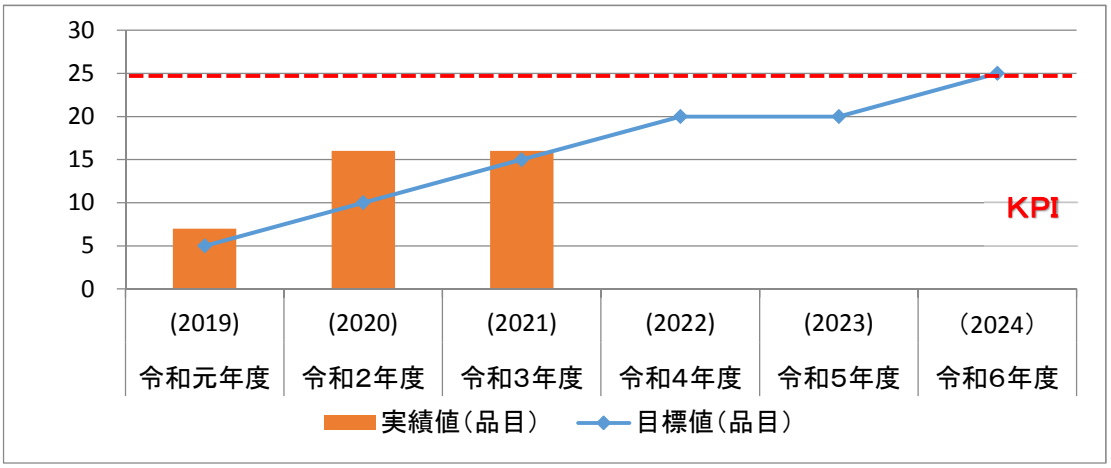
総合評価	◎	取組の深化・発展

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標１ １－２（２）	ゆがわら認定産品制度	担当課
概要	農林水産物や加工品などの特産品を「made in ゆがわら」として認定し、町内での認知度をさらに高めるとともに、町外への情報発信を行っていく。	観光課

進捗状況	ＫＰＩ	認定品の拡充	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 品目
			目標値 令和６年度（2024）	25 品目



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（品目）	5	10	15	20	20	25
実績値（品目）	7	16	16			
目標達成率	140.00%	160.00%	106.67%			
ＫＰＩ評価	◎	◎	◎			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・平成30年度に７品目を認定（令和２年度に廃業１件） ・令和２年度に10品目を認定 ・令和３年度から令和４年度にかけて新規認定品募集
分析 Check	・認定審査委員会において活発な意見交換ができている。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、町外でのイベントが軒並み中止となり、十分なＰＲが行えていない。
今後の方向性 Action	・認定品の多くは食品に偏った傾向にあるので、幅広い分野で認定をしていく。 ・認定要領の見直しを進め、募集の間口を広げる。 ・ふるさと納税の返礼品として周知を図っていく。

総合戦略会議 委員意見	

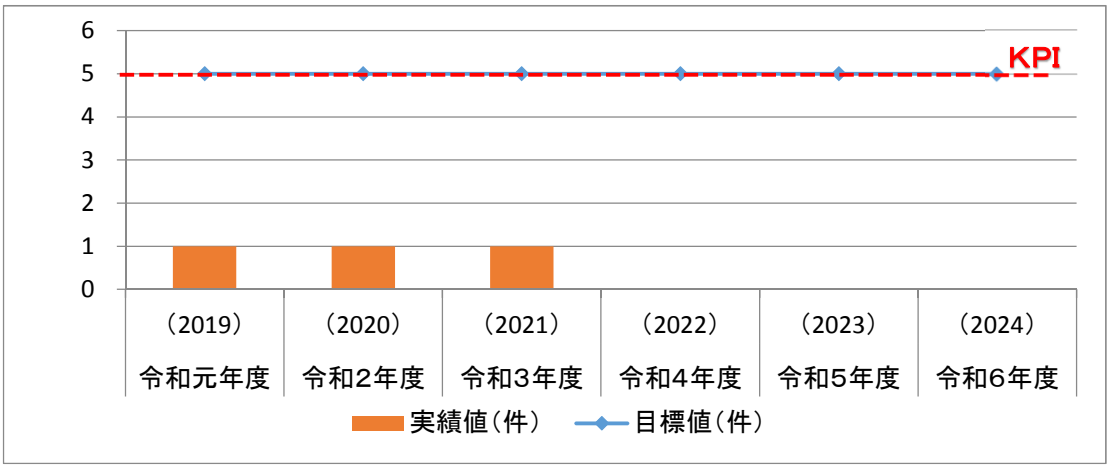
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標１ １－２（３）	体験型農業事業の拡充	担当課
概要	みかんの木のオーナー制度だけでなく、中晩柑、キウイフルーツ、ブルーベリーなど町内で栽培される農産物においても農業者と実現可能か検討していく。	農林水産課

進捗状況	ＫＰＩ	農産物オーナー制度（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	１ 件
			目標値 令和６年度（2024）	５ 件



	令和元年度（2019）	令和２年度（2020）	令和３年度（2021）	令和４年度（2022）	令和５年度（2023）	令和６年度（2024）
目標値（件）	5	5	5	5	5	5
実績値（件）	1	1	1			
目標達成率	20%	20%	20%			
ＫＰＩ評価	○	○	○			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・門川生産組合主体で「みかんの木のオーナー制度」を実施し、40世帯の利用している。
分析 Check	・深刻な農業者の高齢化と後継者不足により、新たな事業を行える農業者がいない。
今後の方向性 Action	・オーナー制度を実施している団体への支援を引き続き行う。 ・農業者団体との連携を図り、新たな事業の実現に向けて検討する必要がある。

総合戦略会議 委員意見	

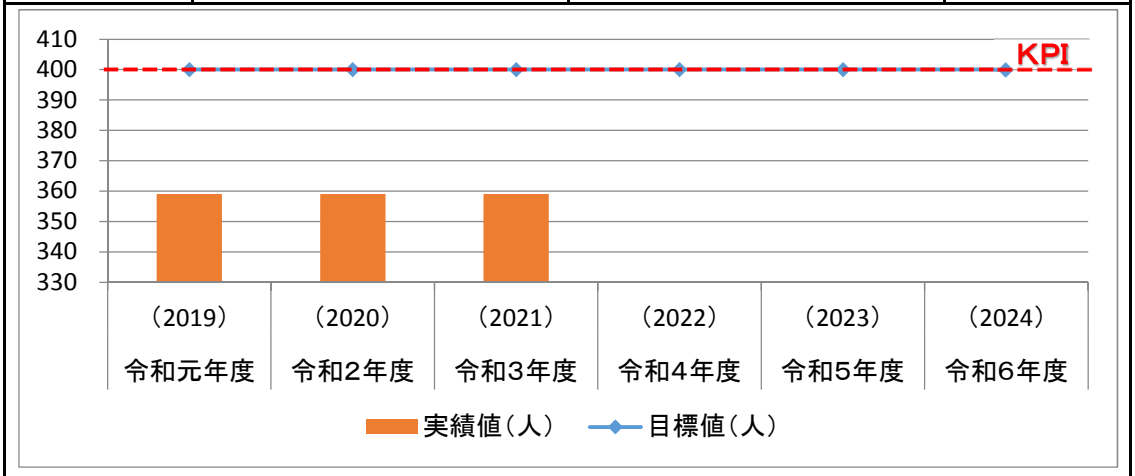
総合評価	△	取組の見直し

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標１ １－２（４）	農林水産業の活性化	担当課
概要	黒潮の影響を受けた豊かな漁場と温暖な気候に恵まれた環境を観光業だけでなく、稼げる農業・漁業を目指し、農林水産業の活性化を図る取組を検討する。	農林水産課

進捗状況	ＫＰＩ	１次産業就労者数（累計）	基準値（開始時） 平成27年度（2015）	359 人
			目標値 令和６年度（2024）	400 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	400	400	400	400	400	400
実績値（人）	359	359	359			
目標達成率	90	90%	90%			
ＫＰＩ評価	○	○	○			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・果樹等の高品質化と安定供給や鳥獣被害の防止を図るため、苗木や資材の購入に対し補助を行った。 ・有害鳥獣による被害を防止するため捕獲従事者の確保を目的にわな免許新規取得者３名及び第一種銃猟免許新規取得者１名に対し免許取得費用の一部助成を行った。 ・漁業施設の維持管理や調査を行い、漁業の振興を図るため、漁業組合に対し補助を行った。
分析 Check	・農業、漁業共に卸売価格が低く苦慮している。インターネット販売等の新たな販路が必要と思われる。
今後の方向性 Action	・町で行っている補助については継続していく。 ・新規就農者に関しては、農業委員会と協力しながらサポートしていく必要がある。

総合戦略会議 委員意見	

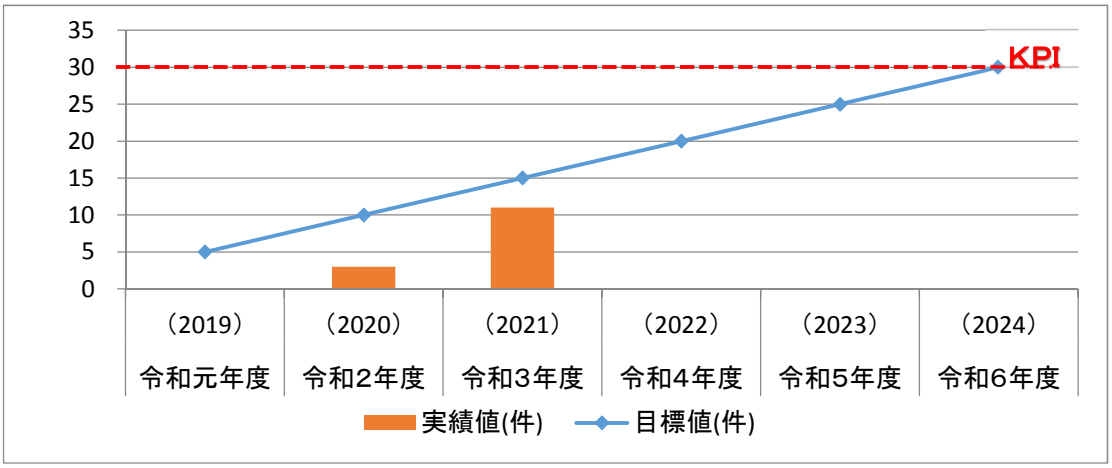
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標１ １－３（１）	雇用確保支援	担当課
概要	箱根町と広域連携し、町内の小規模な事業を含めた雇用希望企業の情報をとりまとめ、雇用確保支援専用のＨＰを構築、情報発信を行う。	地域政策課 観光課

進捗状況	ＫＰＩ	掲載企業数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	0 件
			目標値 令和６年度（2024）	30 件



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値(件)	5	10	15	20	25	30
実績値(件)	0	3	11			
目標達成率	0%	30%	70%			
ＫＰＩ評価	×	△	○			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・令和３年度掲載数実績 掲載社数　11件 応募件数　14社
分析 Check	・前年度と比較し、掲載社数が増加するとともに、求人サイトの閲覧者数も増加しているが、実際の応募件数の飛躍的な増加には繋がっておらず、町内業者に対して当該サイトを利用していただくよう促進する必要がある。 ・応募はするが、掲載まで結びつかないケースが多い。
今後の方向性 Action	・今後とも継続して、求人サイトの利用方法に関するセミナー等を実施していく予定だが、町内事業者にとって、当該サイトを利用することによる具体的なメリット・デメリットがどのように生じるかについても説明を行い、登録事業者の増加に繋げたい。 ・チラシ等をリニューアルし、町内業者等に対して周知を行う。
総合戦略会議 委員意見	

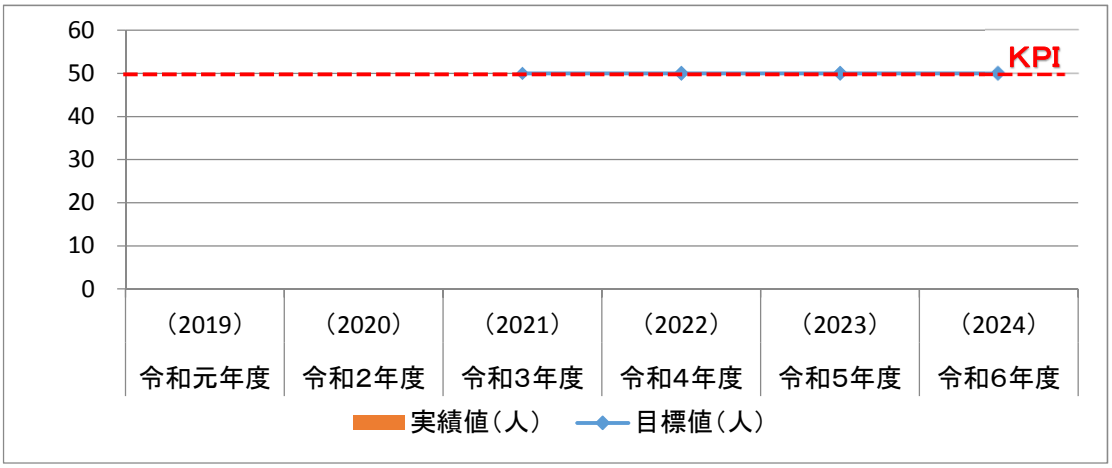
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標１ １－３（２）	インターンシップ支援	担当課
概要	旅館・小売店舗・卸売りなどの第３次産業及び農業・漁業の第１次産業において、就労に必要な知識を習得するためのインターンシップ受け入れが可能な事業所などをとりまとめ、情報を公開するだけでなく、積極的に高校・専門学校・大学などへの説明・売り込みを行う。	地域政策課 観光課 農林水産課

進捗状況	ＫＰＩ	受入者数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 人
			目標値 令和６年度（2024）	50 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	50	50	50	50	50	50
実績値（人）	0	0	0			
目標達成率	0%	0%	0%			
ＫＰＩ評価	○	○	×			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・インターンシップを受け入れることができていない。
分析 Check	・深刻な農業者の高齢化と後継者不足により、受け入れ農家が見つけづらい。
今後の方向性 Action	・農業者団体や農業委員会などとの検討が必要である。

総合戦略会議 委員意見	

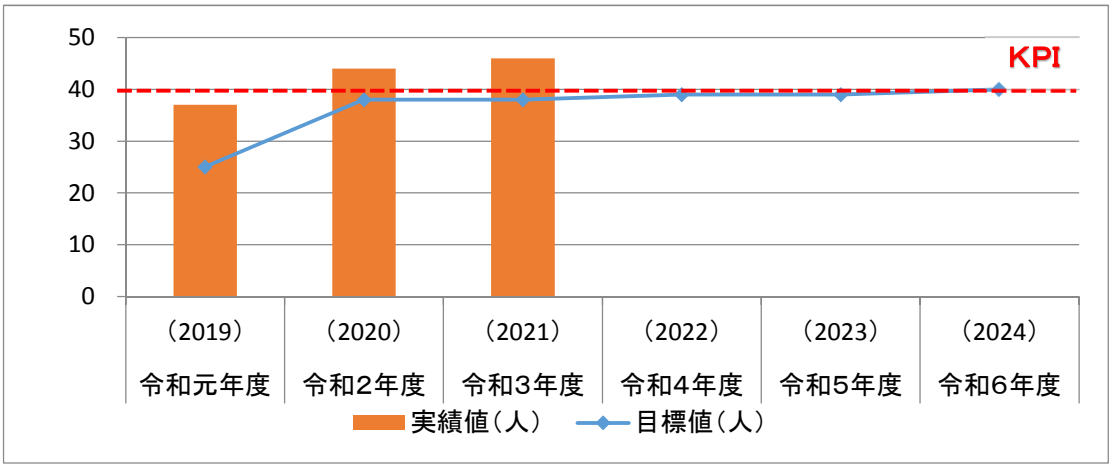
総合評価	△	取組の見直し

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標１ １－３（３）	グローバル人材育成	担当課
概要	民間の国際交流協会と連携してインバウンド対策として外国語に対応できるサポーターの募集、育成を図る。	地域政策課

進捗状況	ＫＰＩ	外国語サポーター人数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	16 人
			目標値 令和６年度（2024）	40 人



	令和元年度（2019）	令和２年度（2020）	令和３年度（2021）	令和４年度（2022）	令和５年度（2023）	令和６年度（2024）
目標値（人）	25	38	38	39	39	40
実績値（人）	37	44	46			
目標達成率	148%	116%	121%			
ＫＰＩ評価	◎	◎	◎			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・日本語支援教室及び日本人向け外国語教室を開催。 ・文化討論会「国際フォーラム」、異文化交流・情報の共有の場として「地球民ラウンジ」、「国際理解講座」、「International Day」を開催。 ・外国籍住民相談員に12名が所属。
分析 Check	・民間交流を活性化することで、共生社会及びインバウンドに対する意識を高める。
今後の方向性 Action	・各教室及び交流イベント等を引き続き実施する。
総合戦略会議 委員意見	

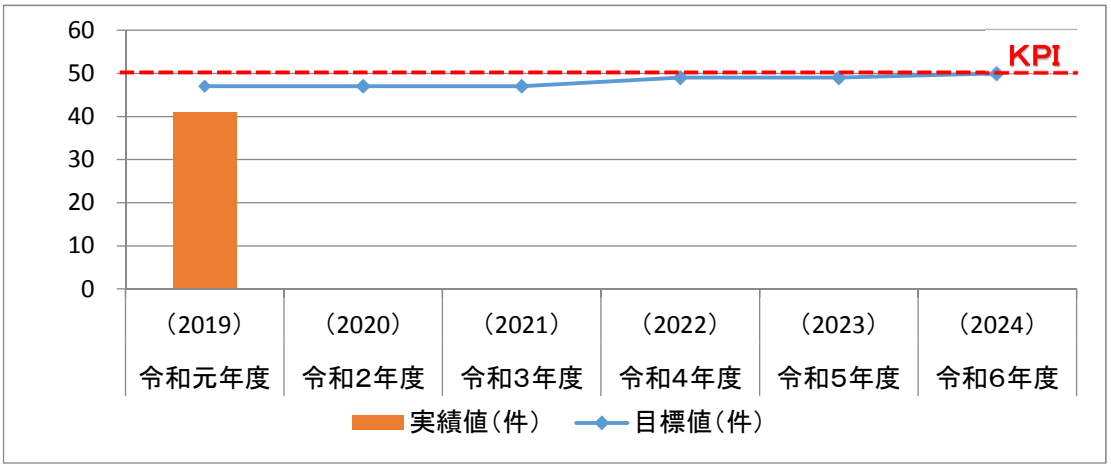
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標１ １－３（４）	郷土愛を育む学習活動	担当課
概要	保育園や幼稚園、小中学校などにおいて湯河原らしさのあるカリキュラムや体験活動を行い、郷土愛を育む教育を推進することで、将来的に子どもたちが湯河原町へ戻ってくるサイクルを創出する。	学校教育課 社会教育課 こども支援課

進捗状況	ＫＰＩ	中学生の職業体験教育の受入企業数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	47 件
			目標値 令和６年度（2024）	50 件



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（件）	47	47	47	49	49	50
実績値（件）	41	0	0			
目標達成率	87%	0%	0%			
ＫＰＩ評価	△	×	×			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・中学校の職業体験については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、校内行事として、万葉公園や天照山ハイキングを実施するほか、地域に対する貢献の気持ちを育むことを目的に町内全域の清掃活動を行った。 ・小学校においては、ミカン狩り体験や福浦漁港等の職場見学の他、遠足行事として幕山や吉浜海岸を訪れることで、地域の特色を知るきっかけとなった。 ・幼稚園においては、美術館、図書館などの町立の施設見学を行うほか、東台福浦小学校の児童との交流の中でミカン狩り体験も行っており、感染対策に気を付けながらも、幅広い年齢層の人々と交流する機会を設けている。 ・土にふれ合う園児のつどい 　令和３年度　未実施
分析 Check	・中学校の職業体験や小学校の校外学習体験（茶摘み体験・稚鮎放流体験・温泉入浴体験）については、新型コロナウイルス感染症拡大防止や天候不順のため令和２年度に引き続き中止となったが、感染対策を講じた上で実施を検討する。 ・町内を散策する行事については、郷土への関心を持つきっかけを作るとともに、児童生徒の体力向上に繋がっている。 ・いもの苗付け及び収穫等を体験することで、子どもたちに土のぬくもりや収穫の楽しさを感じてもらうなど、食育の一環として実施している。
今後の方向性 Action	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、学級閉鎖や臨時休館となる可能性ある。児童生徒の安全が確保できる方法で、今後も地域性を活かした授業等を関係機関や地元の住民と協力連携しながら実施していく。 ・新型コロナウイルス感染症の状況を見つつ、継続して実施する。

総合戦略会議 委員意見	

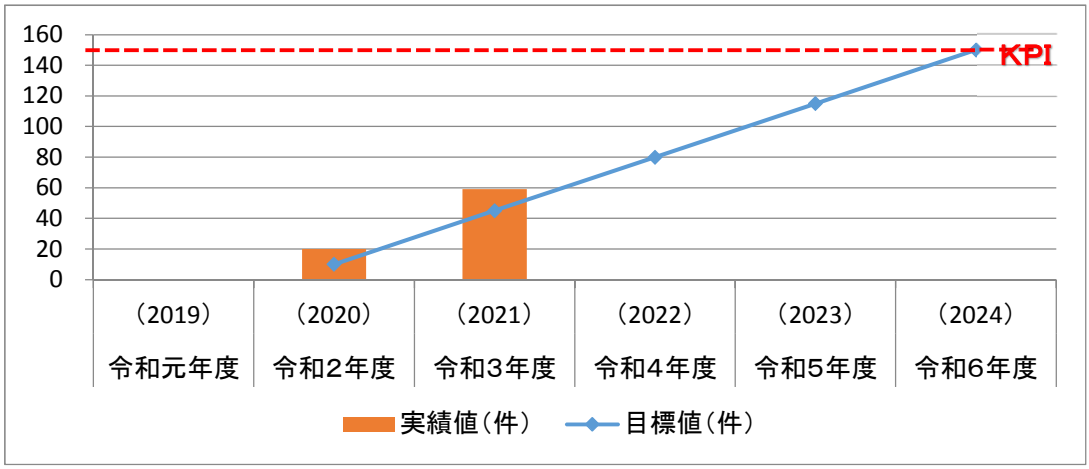
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－１（１）	ロケツーリズムの推進	担当課
概要	ロケ地の誘致情報を一元化しロケツーリズムを推進する。それにより、ロケ場所が聖地となり、最初は観光で訪れていた方が、町内を回遊するうちに湯河原のファンとなる関係人口を増やし、定住を決断することを目指す。	観光課

進捗状況	ＫＰＩ	ワンストップ窓口を経由して町内で撮影されたコンテンツ（ドラマ、アニメ、ネット配信等）（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 件
			目標値 令和６年度（2024）	150 件



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（件）	－	10	45	80	115	150
実績値（件）	－	20	59			
目標達成率	－	200%	131.11%			
ＫＰＩ評価	－	◎	◎			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・令和２年度から取組を開始し、情報番組や連続ドラマ等において駅前やラーメン店、パン屋、飲食店、福浦漁港、海浜公園外周路などが取り上げられた。 ・ロケツーリズム協議会に参画し、セミナーへ参加したり、全国で唯一のロケ情報雑誌「ロケーションジャパン」にも継続的に取り上げていただき、業界での知名度を高め制作者にロケ地を誘致していることを積極的にアピールしている。
分析 Check	・情報番組は即効性があり、放送後に取り上げられた商店・飲食店は反響があるなど、一定の効果が出ている。 ・出演者が町内の飲食店などをＳＮＳで取り上げ、フォロワーが反応するなど、波及的効果が出ている。
今後の方向性 Action	・引き続き、ロケツーリズム協議会のセミナーや制作者とのマッチング大会などに参加するなどし、ロケの誘致に取り組んでいく。 ・ロケ制作者向けの町紹介映像を作成し、制作業界への横展開を狙う。 ・エキストラやロケ地の登録を周知し、オール湯河原で取り組みを推進していく。

総合戦略会議 委員意見	

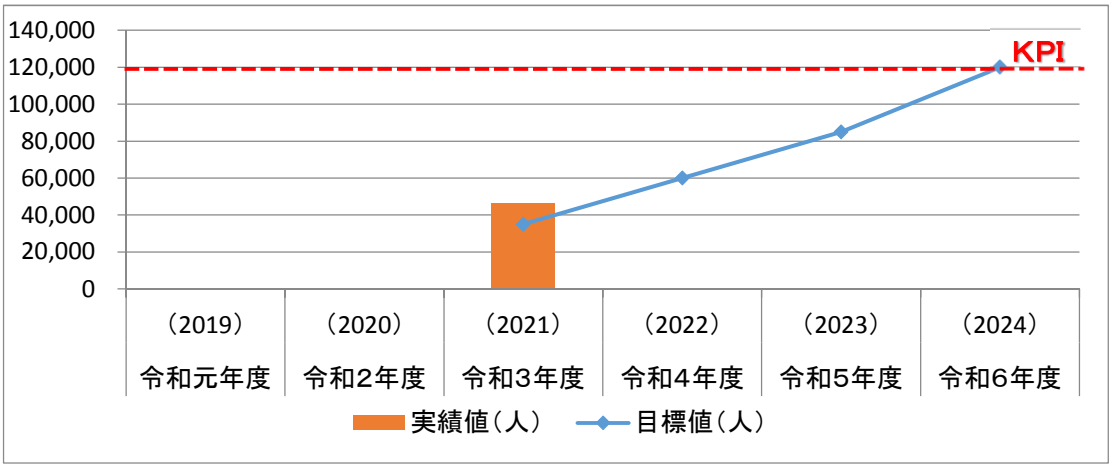
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－１（２）	万葉公園・周辺地区まちづくり	担当課
概要	万葉公園等整備のコンセプト「湯河原温泉場の屋外リビング＆ガーデン」に基づき、公園施設の再整備、湯河原観光会館の建て替え、公園周辺地区の開発との調整及び一体的整備を進め、温泉場エリアに魅力的な滞在の核をつくる。	観光課

進捗状況	ＫＰＩ	万葉公園湯河原惣湯（玄関テラス）利用者数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 人
			目標値 令和６年度（2024）	120,000 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	－	－	35, 000	60, 000	85, 000	120, 000
実績値（人）	－	－	46, 125			
目標達成率	－	－	132%			
ＫＰＩ評価	－	－	◎			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・令和３年４月29日に玄関テラス、８月31日に惣湯テラス（公募対象公園施設）がオープンした。
分析 Check	・新型コロナウイルス感染症拡大防止策等の影響を受けたが、初年度の目標値を達成することができた。
今後の方向性 Action	・湯河原惣研（指定管理者）の自主事業と連携した温泉場エリアでのイベント等の実施により誘客を図る。
総合戦略会議 委員意見	

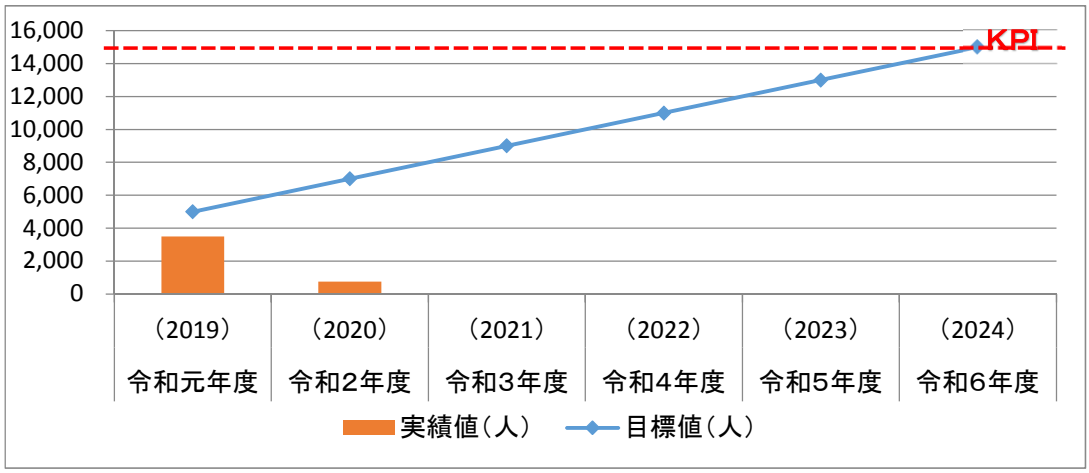
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－１（３）	インバウンドの推進	担当課
概要	湯河原町を訪れる外国人観光客の誘客を促進するため、外国語でのおもてなしレベルの向上を図るとともに、湯河原町の自然や文化などの資源を活用したＰＲや海外都市との経済交流、民間団体との連携などにより、インバウンドを促進する。	観光課 地域政策課

進捗状況	ＫＰＩ	外国人観光客数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 人
			目標値 令和６年度（2024）	15,000 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	5, 000	7, 000	9, 000	11, 000	13, 000	15, 000
実績値（人）	3, 500	750				
目標達成率	70%	11%				
ＫＰＩ評価	○	△				

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・台湾向けのプロモーションとして、台湾人Youtuberを起用したプロモーション動画撮影を令和３年11月24日・25日に実施し、令和４年５月11日時点で3.1万回再生された。 ・町内の事業者向けのおもてなし英会話講座を３回実施した。 ・海外駐在員によるレポートを大韓民国・忠州市が３回、イタリア・ティヴォリ市が４回、オーストラリア・ポートスティーブンス市が３回更新。また、当町の情報をレポートとして、各市町に送付し、ティヴォリ市のホームページに掲載された。 ・イタリア・ティヴォリ市で開催の市民フェスを祝うため、オンライン会談を実施。また、市民フェスで町パンフレット等を配布した。
分析 Check	・実績値の把握は、神奈川県の入込観光客調査の結果の公表後に集計する。（例年８月頃公表） ・新型コロナウイルス感染症により、海外旅行が制限されているため、目標値に対し大きく減少している。 ・海外駐在員レポートを更新することにより、町民に姉妹都市等をより身近に感じてもらう。
今後の方向性 Action	・新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、インバウンド需要のリサーチを行うとともに、収束後の需要を逃さないよう、取り組みを継続する。 ・民間団体と連携をしながら、受け入れ態勢の拡充を図る。

総合戦略会議 委員意見	

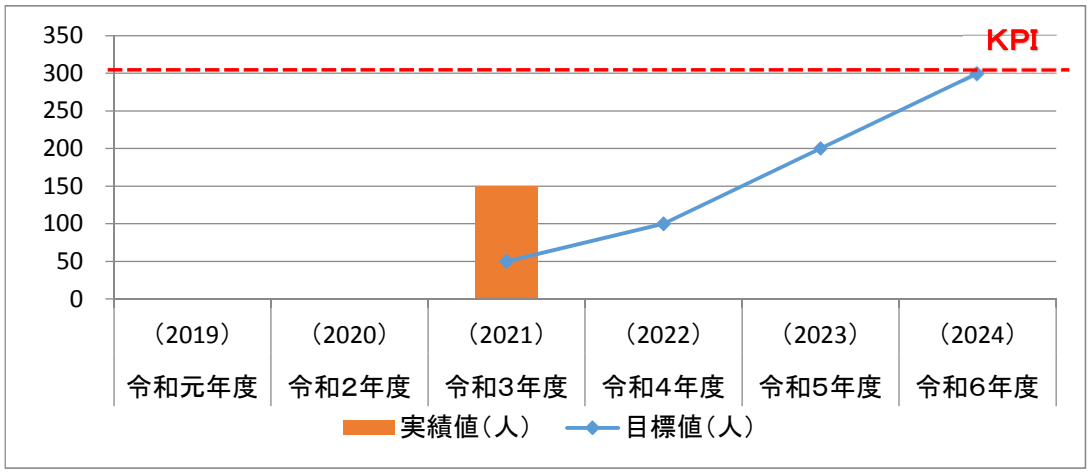
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－１（４）	町民向けセミナー・観光ツアーの開催	担当課
概要	観光客に湯河原町の魅力を知っていただくためには町民がその魅力を理解しなければならない。そこで、町民向けのセミナーや観光ツアーを実施し、湯河原町の観光資源などの情報共有を図る。	観光課

進捗状況	ＫＰＩ	参加者数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 人
			目標値 令和６年度（2024）	300 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	－	－	50	100	200	300
実績値（人）	－	－	149			
目標達成率	－	－	298%			
ＫＰＩ評価	－	－	◎			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・ロケツーリズムによる地域振興セミナーを５回実施。　参加者71名 ・大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に郷土の英雄である土肥実平が登場することで、ＮＨＫと共催のセミナーを令和４年２月11日に開催。　参加者78名
分析 Check	・ロケツーリズムによる地域振興セミナーにおいて、観光関連事業者や観光ボランティアなどが参加し、オール湯河原でのロケ受け入れ態勢が構築された。 ・ＮＨＫと共催で実施したことで、専門家やＮＨＫアナウンサーによるセミナーが開催出来、鎌倉時代や土肥実平についての知識や大河ドラマをより楽しめる内容となった。
今後の方向性 Action	・新型コロナウイルス感染症の拡大状況に注視しつつ、セミナー等を開催し、オール湯河原で観光客を受け入れる体制の構築を目指す。

総合戦略会議 委員意見	

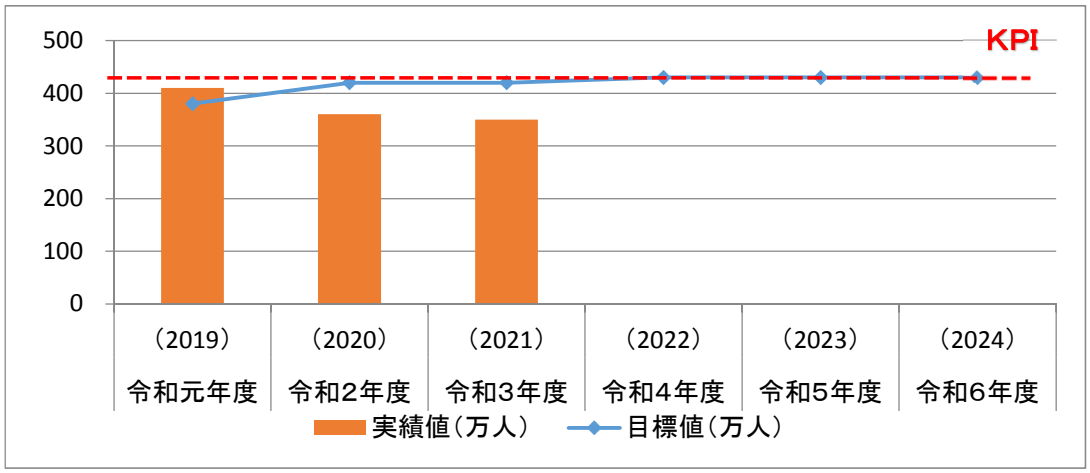
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－１（５）	魅力ある地域資源の活用	担当課
概要	地域に根付いた歴史・文化的な資源を活用し、広く情報発信することで訪れたい、関わりたいまちづくりを推進し、湯河原町の活性化を図る。	観光課

進捗状況	ＫＰＩ	観光客数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	365 万人
			目標値 令和６年度（2024）	430 万人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（万人）	380	420	420	430	430	430
実績値（万人）	410	360	350			
目標達成率	108%	85.71%	83.33%			
ＫＰＩ評価	◎	△	△			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・観光庁の補助金を活用し、地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進事業として、女性の来訪にスポットを当てたモニターツアーを実施。 1. 令和３年10月29日～30日　参加者５名 2. 令和３年11月16日～17日　参加者17名
分析 Check	・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、外出や旅行が控えられており、観光客数については、対前年より減少している。
今後の方向性 Action	・湯河原町にゆかりのある船越英一郎氏を観光大使に任命し、地域に根付いた歴史・文化的な資源を広く発信していく。 ・新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、観光資源の活用や発信に引き続き取り組む。
総合戦略会議 委員意見	

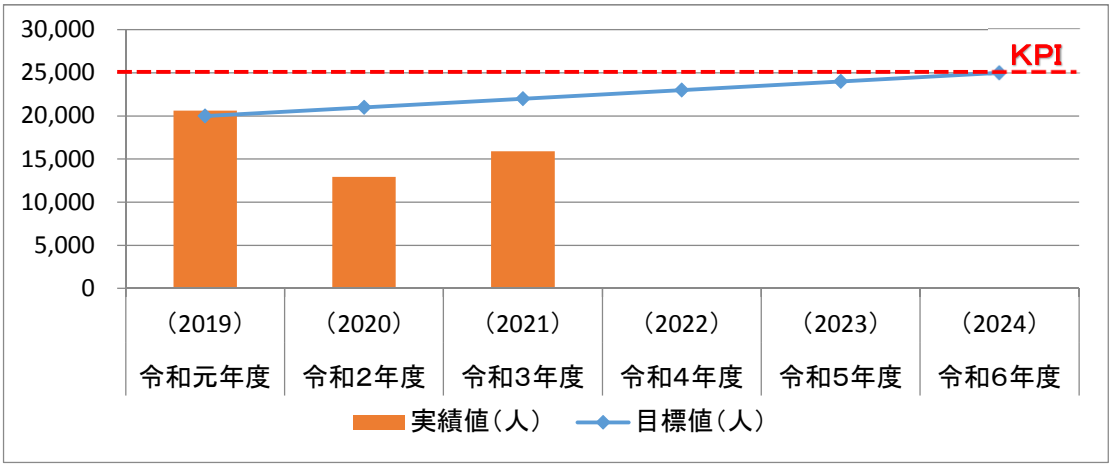
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－１（６）	文化と観光による地域再生	担当課
概要	「町立湯河原美術館」を温泉場エリアの観光拠点の１つとして先駆的な施設へと昇華させるため、館内に整備した見えるアトリエやカフェを活用し、美術館を起点にした回遊を生み出す。	社会教育課 （美術館）

進捗状況	ＫＰＩ	来館者数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	20,989 人
			目標値 令和６年度（2024）	25,000 人



	令和元年度 （2019）	令和２年度 （2020）	令和３年度 （2021）	令和４年度 （2022）	令和５年度 （2023）	令和６年度 （2024）
目標値（人）	20, 000	21, 000	22, 000	23, 000	24, 000	25, 000
実績値（人）	20, 609	12, 932	15, 912			
目標達成率	103%	62%	72%			
ＫＰＩ評価	○	△	△			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・特別展として平松礼二館開館15周年記念展「睡蓮交響曲」及び現代作家展を開催した。 ・「平松礼二見えるアトリエ」事業を継続。 ・「湯河原十景」作品を町民カレンダーや観光ポスター等へ掲載した。 ・ミュージアムカフェ「アートandgarden」事業で作家展を開催した。
分析 Check	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のための緊急事態宣言などの影響により、来館者数は大きく伸びなかったが、特別展等展覧会の開催や、ミュージアムカフェイベントを実施することにより、集客効果があった。
今後の方向性 Action	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じつつ、魅力的な展覧会の企画や「見えるアトリエ」事業を継続し、来館者の満足度に貢献できるサービスに努めることにより、来館者数の増を図る。 ・ミュージアムカフェや地域のイベントと連携して周辺地域の活性化に貢献する。 ・「湯河原十景」作品を活用した事業を展開する。

総合戦略会議 委員意見	

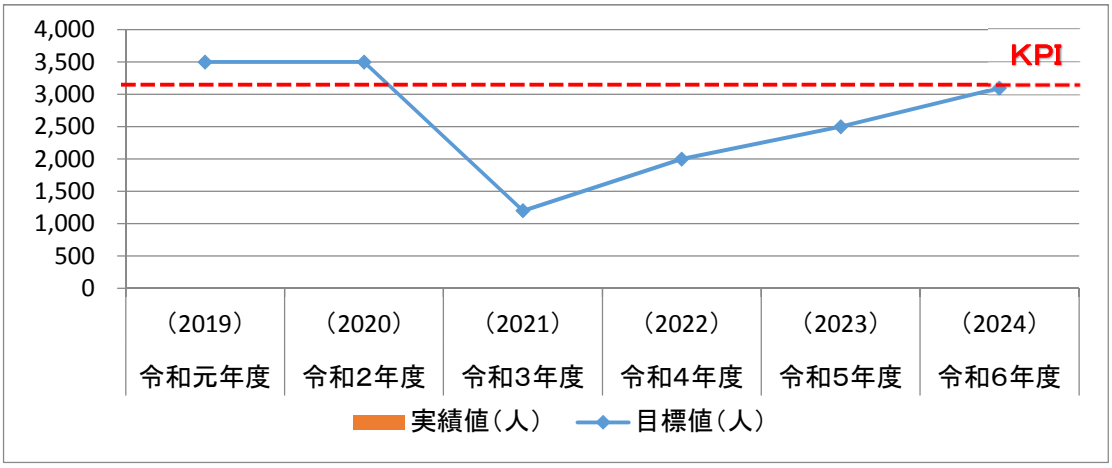
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－１（７）	スポーツイベントの推進	担当課
概要	湯河原温泉オレンジマラソンのような湯河原らしさを活かした宿泊を伴うスポーツ大会（サッカー・サーフィン・野球・ソフトボール・スローピッチなど）を開催または誘致し、町外参加者および宿泊客の増加を図る。	社会教育課 地域政策課 観光課

進捗状況	ＫＰＩ	スポーツイベント町外参加者数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	2,925 人
			目標値 令和６年度（2024）	3,100 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	3, 500	3, 500	1, 200	2, 000	2, 500	3, 100
実績値（人）	---	---	---			
目標達成率	---	---	---			
ＫＰＩ評価	△	△	△			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、〇基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・オレンジマラソン大会は、新型コロナウイルスの感染症予防の観点から、参加者及び関係スタッフ等の安全確保が難しいため中止とした。また、各種スポーツイベントも開催を見合わせることとなった。
分析 Check	・新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努め、開催に向けて準備を進めるも、数年間中止が続いたことにより、関係団体の理解、協力を得ることが難しいと感じる。今もって感染症の脅威は大きい。 ・パークゴルフ場については、スポーツを楽しむ上で不可欠な要素である利用者の安全・安心の確保のための休憩施設の整備が課題となっている。
今後の方向性 Action	・新型コロナウイルス感染症対策の観点から、オレンジマラソンについては、開催方法、大会規模や参加者数について検討する必要がある。また、各種大会についても、関係団体等から意見を聞いた上で、十分な安全対策が施せるように留意する。 ・令和４年度にパークゴルフ場に整備予定の「地域住民との交流施設（仮称）」を活用し、令和５年度から総合運動公園での大会・イベント等の検討をする。 ・大会・イベント等は町外参加者を町内へ回遊させるものを検討する。

総合戦略会議 委員意見	

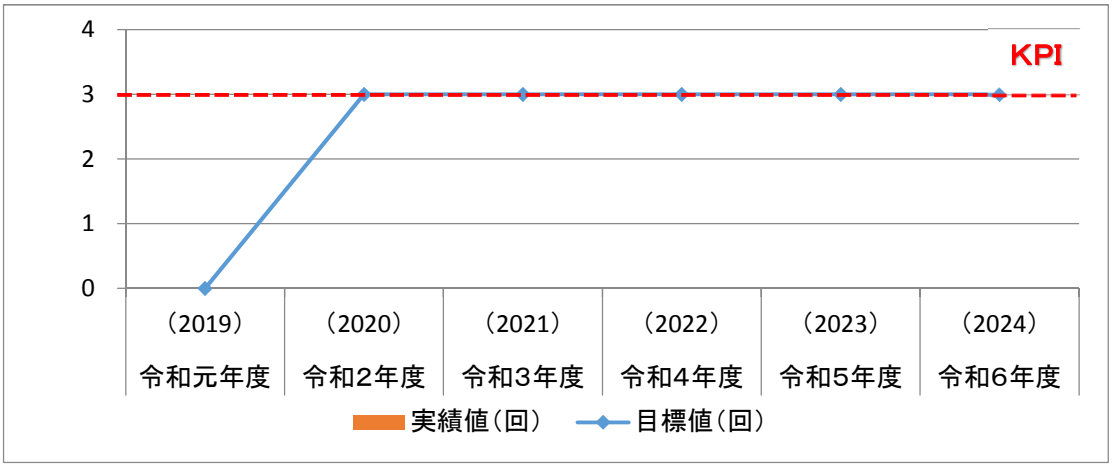
総合評価	△	取組の見直し

※総合評価：◎取組の深化・発展、〇取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－１（８）	スポーツ施設の整備	担当課
概要	湯河原総合運動公園へ弓道場・パークゴルフ場と休憩施設等を整備し、公園全体の利用者の増加や若年層と多世代間の交流を促進させる。併せて、観光産業とのマッチングを図ることにより、交流人口の増加と、地域経済の活性化を図る。	社会教育課 まちづくり課

進捗状況	ＫＰＩ	大会開催回数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 回
			目標値 令和６年度（2024）	３ 回



	令和元年度（2019）	令和２年度（2020）	令和３年度（2021）	令和４年度（2022）	令和５年度（2023）	令和６年度（2024）
目標値（回）	－	3	3	3	3	3
実績値（回）	－	0	0			
目標達成率	－	0%	0%			
ＫＰＩ評価	－	×	×			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、他市町の弓道場が休場となる中、感染症対策を施すことで開場した。 ・新型コロナウイルス感染症予防の観点から、パークゴルフ大会の開催を中止した。 ・パークゴルフ場休憩施設整備について、設置を計画した。
分析 Check	・利用者全体の約２割が町外からの利用者であったので、施設の利用について周知を図ることで利用件数は伸びると考える。 ・令和元年度に弓道教室を開催したところ、初めて体験する人が多いことから、きっかけづくりの一つとして定期的な開催が望まれる。 ・パークゴルフ場利用者は町内の高齢者が多かったが、日常の運営での利用者間の接触を防止し、指定管理者と協議しながら新型コロナウイルス感染症拡大防止に繋がった。
今後の方向性 Action	・指定管理者制度の導入を受けて、新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら大会の定期開催について検討する。 ・弓道人口及び練習・競技場所が限られた種目であることから、初心者教室等を開催することで新たな利用者の増に努める。 ・新型コロナワクチン接種が進んでいるため、湯河原町と指定管理者が協議し大会の人数を調整しながら開催を実施する。 ・パークゴルフ場休憩施設整備を進め、利用者の増を見込んでいる。

総合戦略会議 委員意見	

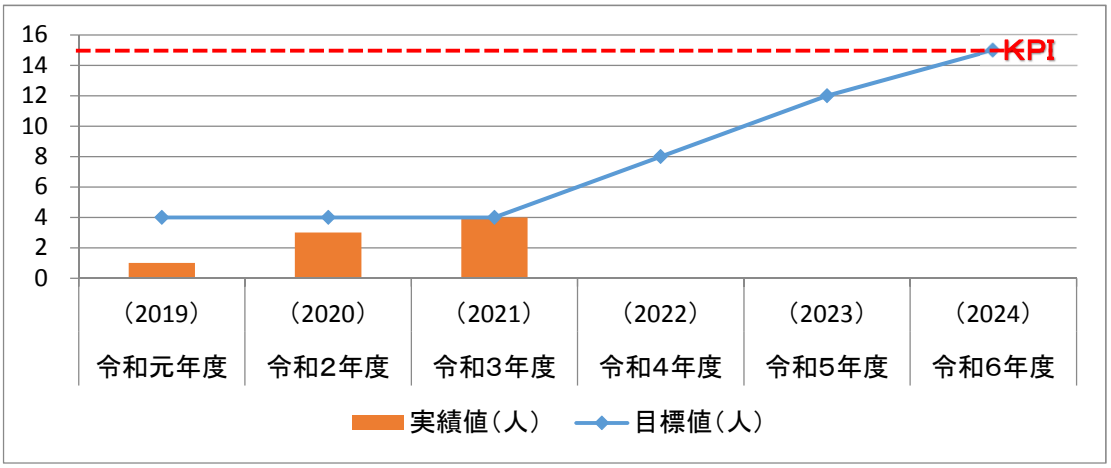
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－２（１）	湯河原町への移住ＰＲ	担当課
概要	神奈川県と合同で実施している東京での移住セミナーだけでなく、実際に町内を見ていただき、地域資源や各種イベントを通じて湯河原町の自然、産業、暮らしなどをＰＲする。	地域政策課

進捗状況	ＫＰＩ	移住セミナー等参加者からの移住者数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	１ 人
			目標値 令和６年度（2024）	15 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	4	4	4	8	12	15
実績値（人）	1	3	4			
目標達成率	25%	75%	100%			
ＫＰＩ評価	△	○	○			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・神奈川県等が主催する移住説明会に４回（内３回オンライン開催）参加した。 ・役場窓口、電話、メール等により、移住相談を随時受付している。 ・移住希望者に対して、「ゆがわら暮らしのガイドブック」等の情報冊子を配布した。また、町職員が直接、移住希望者と一緒に町内を案内し、魅力等を直接伝えた。 ・駅前の拠点にて、様々な分野に精通したゲストによるワーキングをオンラインを併用しながら行い、魅力の発信方法の充実を図ることができた。
分析 Check	・移住を促進するような補助制度等を明確に定め、実施する必要がある。 ・相談内容から移住希望者の動向を把握し、的確な情報の提供を行う必要がある。
今後の方向性 Action	・令和４年度から設立する移住サポーターについて、その活用・運用方法を検討し、充実を図る。 ・地域資源を「観光資源」に留まらせないPRが必要であり、町のＰＲすべきポイントを適正に把握し共有を図る。 ・駅周辺に設立した拠点を有効的に活用し、移住経験者との交流を推進する。

総合戦略会議 委員意見	

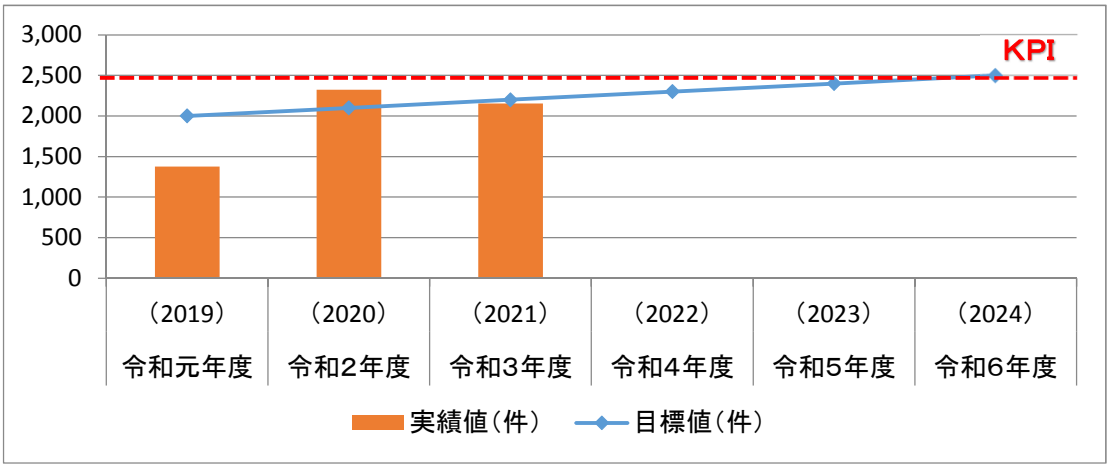
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－２（２）	かながわ県西空き家バンクの活用	担当課
概要	「かながわ県西空き家バンク」への登録を推進するとともに、町ホームページにおいて移住者の感想などを掲載する。	地域政策課

進捗状況	ＫＰＩ	「かながわ県西空き家バンク」のアクセス数（月平均）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	1,431 件
			目標値 令和６年度（2024）	2,500 件



	令和元年度（2019）	令和２年度（2020）	令和３年度（2021）	令和４年度（2022）	令和５年度（2023）	令和６年度（2024）
目標値（件）	2, 000	2, 100	2, 200	2, 300	2, 400	2, 500
実績値（件）	1, 376	2, 324	2, 155			
目標達成率	68%	110%	97%			
ＫＰＩ評価	△	◎	○			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・「かながわ県西空き家バンク」にて物件情報を公開した。 ・空き家の利活用について、関係市町及び県西地域空き家利活用促進協議会事務局と協議した。
分析 Check	・関係市町及び宅建協会小田原支部と官民が連携し取り組むことで効果的な施策を展開する必要がある。 ・空き家の所有者に対して、県西空き家バンクへの掲載を促す。
今後の方向性 Action	・「かながわ県西空き家バンク」ホームページをリニューアルし、利用者の利便性の向上を図る。 ・物件登録数を増やす方策を検討する。
総合戦略会議 委員意見	

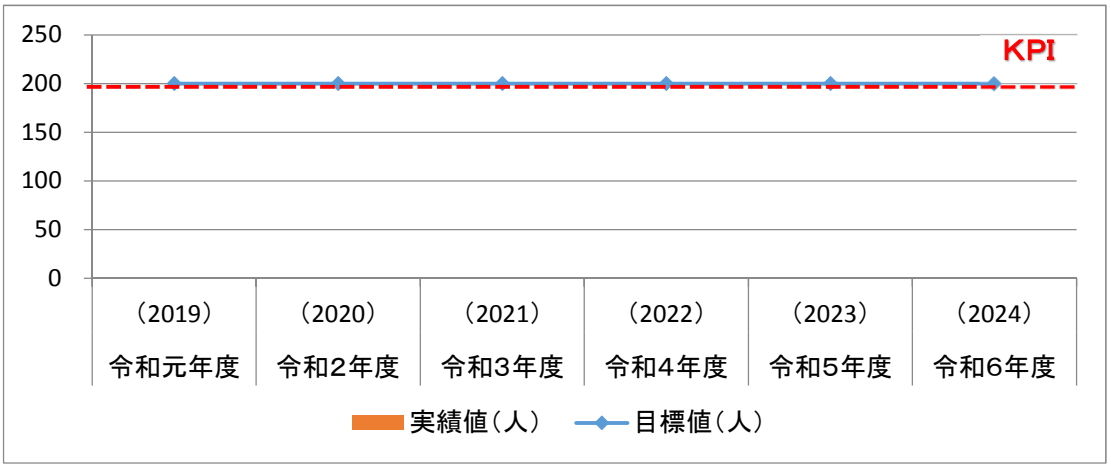
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－２（３）	お試し移住の促進	担当課
概要	空き家を活用して実施するにあたり、所有者の特定・許可など取組みにかなりの時間が掛かるが、その後のリフォームや低賃料での貸し出しは民間などと協力しながら進めていく。	地域政策課

進捗状況	ＫＰＩ	お試し移住体験者の数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 人
			目標値 令和６年度（2024）	200 人



	令和元年度（2019）	令和２年度（2020）	令和３年度（2021）	令和４年度（2022）	令和５年度（2023）	令和６年度（2024）
目標値（人）	200	200	200	200	200	200
実績値（人）	0	0	0			
目標達成率	0%	0%	0%			
ＫＰＩ評価	×	×	×			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・お試し移住をするための土地、建物がないため、実施ができていない。
分析 Check	・移住希望者によって移住希望地域が異なるため、どこでお試し移住を行うかなどの動向を把握し、需要がありそうな場所を探す必要がある。
今後の方向性 Action	・町単体で行うのではなく、お試し移住を考えている民間団体や移住経験者と連携を行い、検討を行う。

総合戦略会議 委員意見	

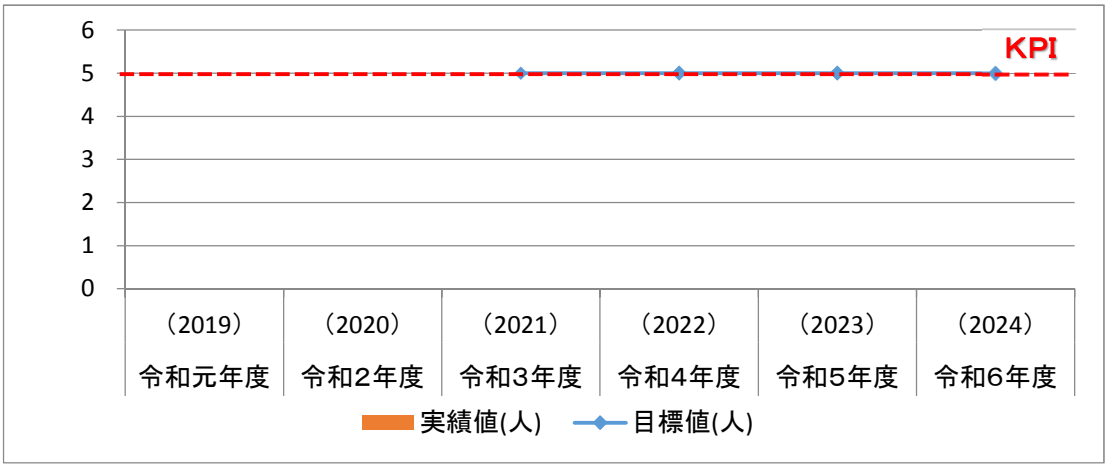
総合評価	△	取組の見直し

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－２（４）	休耕地の利活用	担当課
概要	深刻な後継者不足やみかん価格の低迷などにより増加している休耕地を利用し、研修ができる農家の洗い出しや指導農業者の育成をしながら、若い新規就農者やＵターン就農者を受け入れ、農業の活性化を図る。また、人・農地プランを活用し、本町の農業の未来を見据えながら農地の集積・集約に努め、新規就農者などを受け入れやすい農地を広めて行く。	農林水産課 観光課

進捗状況	ＫＰＩ	新規就農者数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 人
			目標値 令和６年度（2024）	5 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値(人)	－	－	5	5	5	5
実績値(人)	－	－	0			
目標達成率	－	－	0%			
ＫＰＩ評価	－	－	○			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・新規就農希望者はいるものの、資格や耕作地の条件が整わなかった。
分析 Check	・本町の農地は傾斜地が大半を占め、主要な作目が果樹類のため、就農しても数年たたないと収益を得ることができないため、新規就農者が参入しづらい。
今後の方向性 Action	・農地の集積・集約化を進め、市場性の高い農産物を作る農業者の育成や指導農業者の育成を図りながら、新規就農者やＵターン就農者の支援を行う。

総合戦略会議 委員意見	・新規就農の希望者、特に移住希望者や若い世代に対して、農業収入の指標となるものの見える化やライフスタイルのモデルケースなどを作成するとよい。

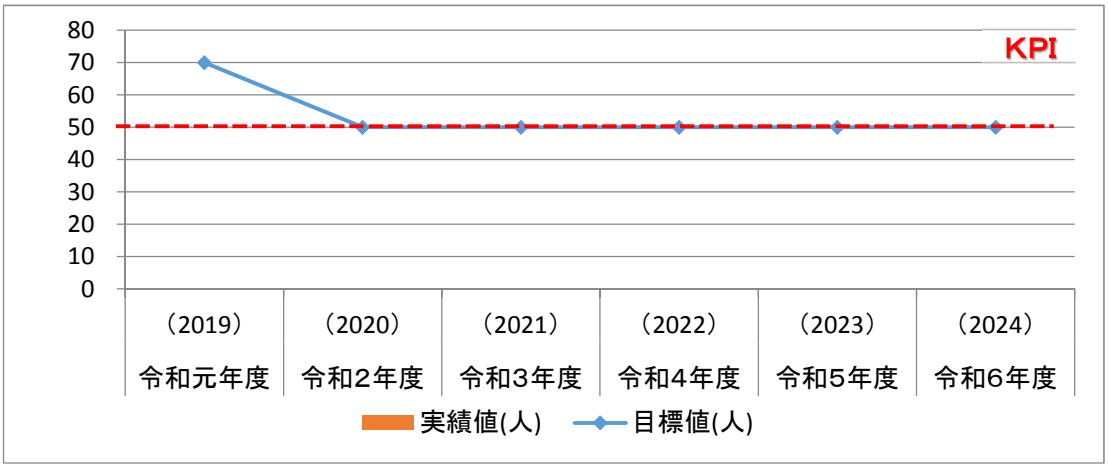
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－２（５）	移住・定住者への補助	担当課
概要	空き家所有者や不動産会社、金融機関と協議・連携しながら、かながわ県西空き家バンクを利用した移住者向けの低金利ローンを検討する。	地域政策課

進捗状況	ＫＰＩ	制度利用者数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 人
			目標値 令和６年度（2024）	50 人



	令和元年度（2019）	令和２年度（2020）	令和３年度（2021）	令和４年度（2022）	令和５年度（2023）	令和６年度（2024）
目標値(人)	70	50	50	50	50	50
実績値(人)	---	0	0			
目標達成率	---	0%	0%			
ＫＰＩ評価	×	×	×			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・町内に支店がある金融機関（２行）と協力し、移住者向けの低金利ローンについて検討することができた。
分析 Check	・金融機関との連携については構築することができたが、実際の利用実績が少ない。町としても周知する機会がなく、検討が必要である。
今後の方向性 Action	・運用方法を検討し、町ＨＰ等を活用しながら広く周知ができるよう検討しなければならない。

総合戦略会議 委員意見	

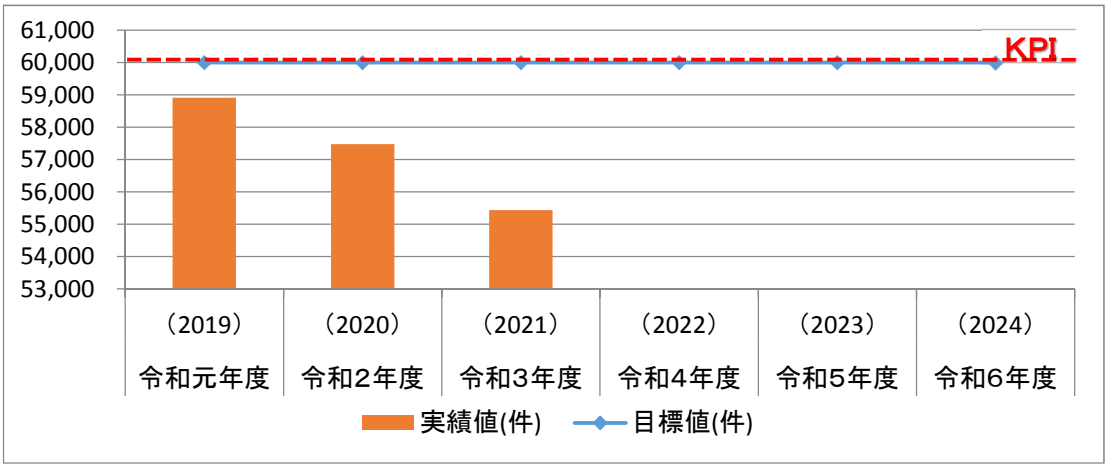
総合評価	△	取組の見直し

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－３（１）	湯河原温泉公式ホームページの活用	担当課
概要	湯河原町・商工会・観光協会・旅館協同組合が共同で立ち上げた湯河原温泉公式ホームページを活用し、宿泊施設だけでなく、総合的な観光ホームページとして掲載内容を充実させる。	観光課

進捗状況	ＫＰＩ	アクセス件数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	47,876　件
			目標値 令和６年度（2024）	60,000　件



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値(件)	60, 000	60, 000	60, 000	60, 000	60, 000	60, 000
実績値(件)	58, 915	57, 479	55, 435			
目標達成率	98%	96%	92. 39%			
ＫＰＩ評価	○	△	△			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・湯河原温泉公式ホームページに町や各団体の情報を集約させ、観光客目線で情報が取得しやすい環境を維持する。
分析 Check	・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和３年度についても観光需要の低下にともなうアクセス数の減少がみられた。
今後の方向性 Action	・引き続き、湯河原温泉公式ホームページに町や各団体の情報を集約させ、観光客目線で情報が取得しやすい環境を維持する。

総合戦略会議 委員意見	

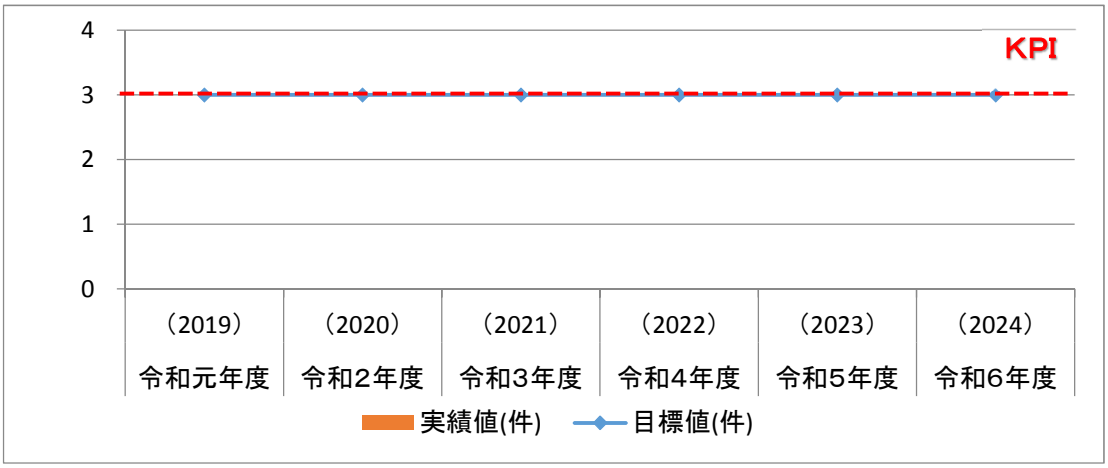
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－３（２）	合宿等の誘致に向けた情報発信	担当課
概要	地方創生における湯河原町の観光や農林水産分野の取組みについて、大学に情報提供し、ゼミ合宿の誘致を図る。	地域政策課 観光課 農林水産課

進捗状況	ＫＰＩ	誘致による合宿実施数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 件
			目標値 令和６年度（2024）	3 件



	令和元年度（2019）	令和２年度（2020）	令和３年度（2021）	令和４年度（2022）	令和５年度（2023）	令和６年度（2024）
目標値(件)	3	3	3	3	3	3
実績値(件)	0	0	0			
目標達成率	0%	0%	0%			
ＫＰＩ評価	×	×	×			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・未実施
分析 Check	・各分野の組合との検討を行う必要がある。
今後の方向性 Action	・各分野の組合との検討を行う必要がある。

総合戦略会議 委員意見	

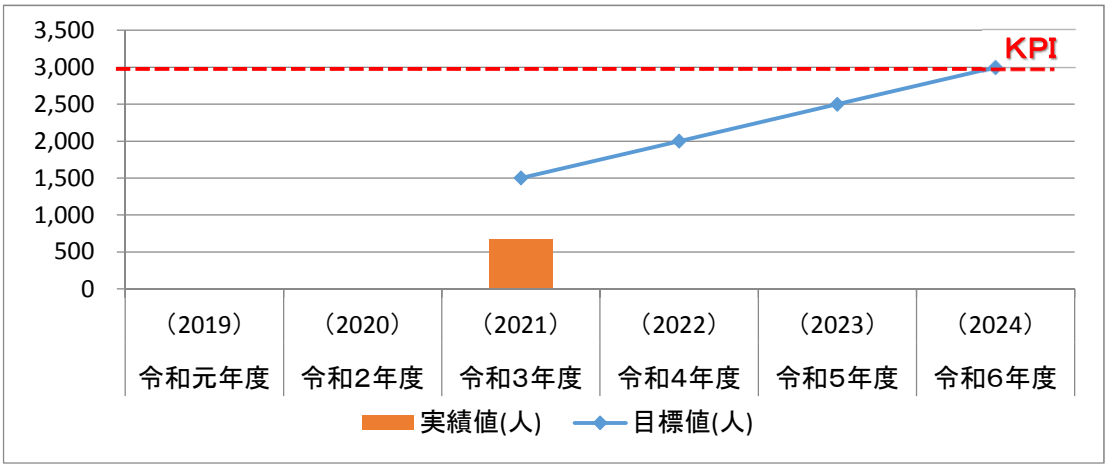
総合評価	△	取組の見直し

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－３（３）	多様な媒体による情報発信	担当課
概要	町ホームページをベースに、LINEなど幅広い世代が利用するＳＮＳ（ソーシャルネットワーク）を活用するなど、新たな周知方法を検討する。また、駅前ＬＥＤ広告や広報紙の配架方法などを検討し、多様な媒体による情報発信を行う。	デジタル推進室 観光課 秘書広報室

進捗状況	ＫＰＩ	ＳＮＳ登録者数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 人
			目標値 令和６年度（2024）	3,000 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値(人)	－	－	1,500	2,000	2,500	3,000
実績値(人)	－	－	669			
目標達成率	－	－	44.60%			
ＫＰＩ評価	－	－	△			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・「広報ゆがわら」（新聞折込、町内54か所に配架）やコミュニティラジオ（株式会社エフエム熱海湯河原へ委託）、データ放送（株式会社テレビ神奈川（tvk・３ch））による情報発信を令和２年度同様に実施。 ・Facebookで外国人向けに英語表記の湯河原温泉の紹介ページを発信。 ・令和３年度ホームページのリニューアル実施。 ・メールマガジンのLINE配信開始。
分析 Check	・町ホームページがスマートフォン対応となったことから、関連ページが存在する場合は「広報ゆがわら」記事内に積極的にQRコードを掲載するなど、わかりやすい情報発信が必要。
今後の方向性 Action	・町ホームページの各記事ページから、TwitterやFacebookなどのSNSへ直接情報をシェアできるため、町ホームページ閲覧者による情報の共有（拡散）を促す。 ・LINE登録の周知を様々な機会を捉えて行う。 ・株式会社エフエム熱海湯河原が活用するラジオアプリと連携した情報発信を実施予定。 ・広報の配布方法について近隣自治体の方法等を参考に引き続き検討する。

総合戦略会議 委員意見	

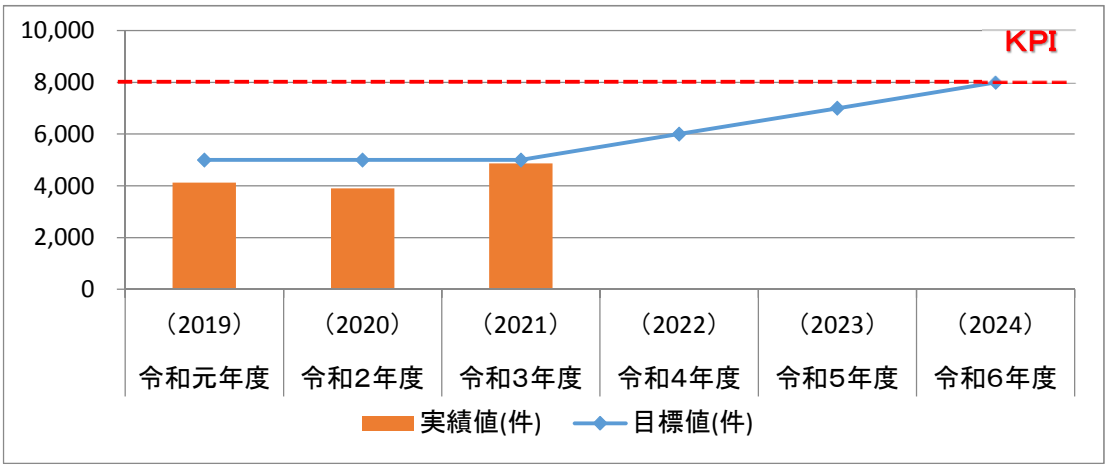
総合評価	◎	取組の深化・発展

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－３（４）	街歩き情報配信サービスの促進	担当課
概要	観光立町としての情報発信の強化と、インバウンド対策として、スマートフォン版観光ポータルサイトを通してサービスの促進を図る。	デジタル推進室 観光課

進捗状況	ＫＰＩ	観光ポータルサイトアクセス件数（月平均件数）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	4,727　件
			目標値 令和６年度（2024）	8,000　件



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値(件)	5,000	5,000	5,000	6,000	7,000	8,000
実績値(件)	4,123	3,902	4,866			
目標達成率	82%	78%	97.00%			
ＫＰＩ評価	○	△	○			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・民間事業者へSSIDを「yugawara-WiFi」へ統一する呼びかけを実施した。 ・登録件数42件
分析 Check	・新型コロナウイルス感染症が流行前の水準まで利用件数が戻ったが、利用件数は頭打ちである。これは、利用するためにアプリのダウンロードが必要となることから使い勝手が悪いものと分析している。 （2018年度4,726件）
今後の方向性 Action	・アプリをダウンロードする不便さや道案内機能などGoogleMapでも標準機能で対応しているため、本アプリの役割は終わったと判断し廃止する。なお、史跡情報などのコンテンツは、町ホームページ又は観光WEBへ移行する。

総合戦略会議 委員意見	

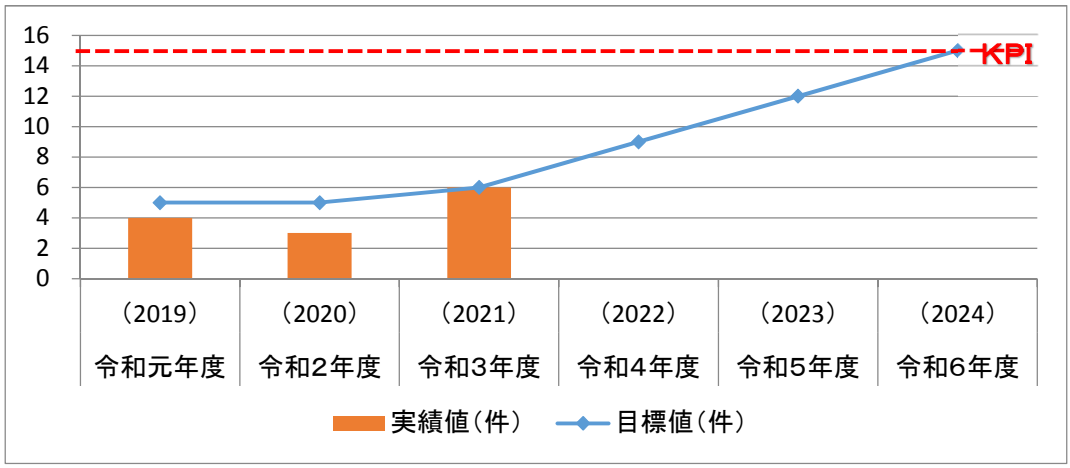
総合評価	×	取組の中止・終了・統合

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標３ ３－１（１）	結婚祝い金の支給	担当課
概要	湯河原町に住所を有する男女の結婚を奨励祝福し結婚祝い金を支給することにより、結婚に伴う経済的負担を軽減し、湯河原町への定着化を図り、少子化対策を推進する。	住民課

進捗状況	ＫＰＩ	結婚祝い金支給件数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	4 件
			目標値 令和６年度（2024）	15 件



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（件）	5	5	6	9	12	15
実績値（件）	4	3	6			
目標達成率	80%	60%	100%			
ＫＰＩ評価	△	△	◎			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・支給件数６件 ・窓口において、パンフレットの配布と制度の説明を行っている。 ・町のホームページ、広報ゆがわら、地方紙を活用し、制度の案内を行っている。 ・町内の不動産業者に制度の説明及びパンフレットとポスターの配布を行っている。
分析 Check	・令和３年度に夫婦の年齢要件を34歳以下から39歳以下へ、世帯所得額を340万円未満から400万円未満に引き上げたことにより、実績が増えたと考えられる。 ・夫婦共働きの場合は所得要件に、若い世代では、家の購入や新規に賃貸アパートを借りることが少なく、支給要件に該当しないことが多い。また、引越し費用についても、業者に依頼しないで自分達で行うケースがあり、支給要件に該当しないことがある。
今後の方向性 Action	・国の補助金を活用し、今後も実施する。 ・引き続き事業を広報するために、さまざまな周知方法を検討する。

総合戦略会議 委員意見	

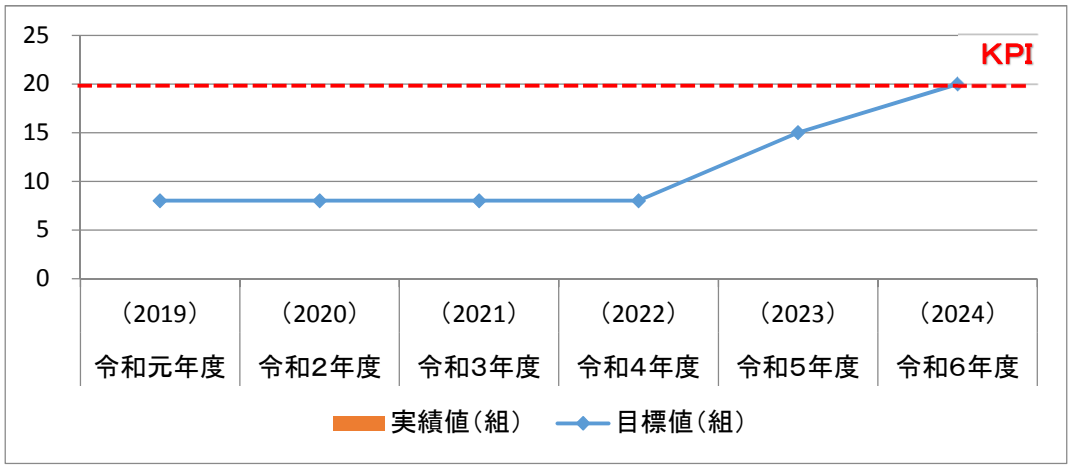
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標３ ３－１（２）	婚活イベントの開催	担当課
概要	湯河原町の資源を活用しながら魅力ある婚活イベントを実施し、未婚の男女へ出会いの機会を創出する。	観光課 地域政策課

進捗状況	ＫＰＩ	イベントによるカップル成立数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	９ 組
			目標値 令和６年度（2024）	20 組



	令和元年度 （2019）	令和２年度 （2020）	令和３年度 （2021）	令和４年度 （2022）	令和５年度 （2023）	令和６年度 （2024）
目標値（組）	8	8	8	8	15	20
実績値（組）	0	－	－			
目標達成率	0%	－	－			
ＫＰＩ評価	△	－	－			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントを実施できていない。 ・平成30年度に実施したさつきの郷の婚活イベントで知り合った方々が令和３年４月に結婚すると報告があった。
分析 Check	・新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努める必要がある。
今後の方向性 Action	・新型コロナウイルス感染症の収束やワクチン接種状況を見据え、取組を推進していく。
総合戦略会議 委員意見	

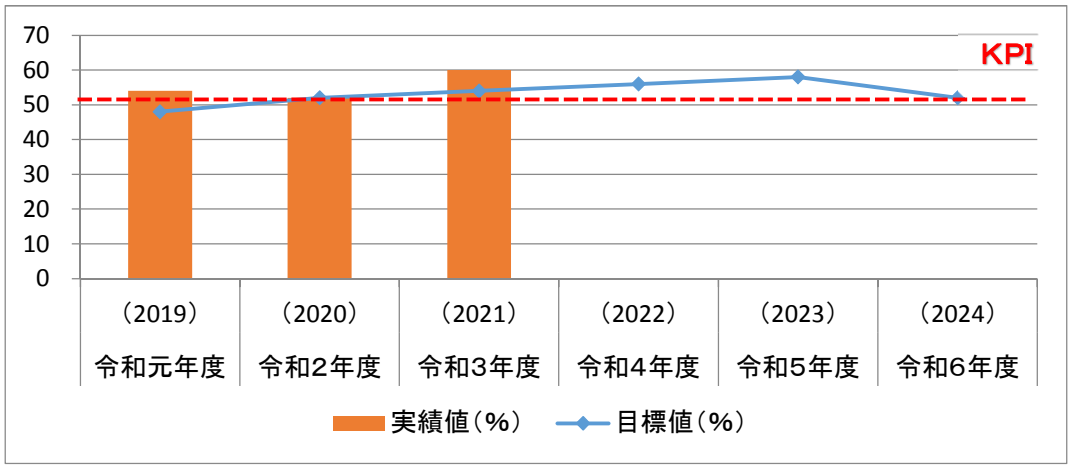
総合評価	△	取組の見直し

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標３ ３－２（１）	安心して子どもを産める環境の整備	担当課
概要	町内への産科医誘致、広域での充実など、あらゆる方策を検討し、若い世代が安心して妊娠、出産と子育てができる環境づくりに努め、結婚世代の定住促進と出生率の向上を図る。	保健センター 消防本部

進捗状況	ＫＰＩ	25～34歳の出産率	基準値（開始時） 平成29年度（2017）	48 %
			目標値 令和６年度（2024）	52 %



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（%）	48	52	54	56	58	52
実績値（%）	54	52	60			
目標達成率	113%	100%	111%			
ＫＰＩ評価	◎	○	◎			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	<妊娠届出と登録者数の推移> ・妊娠届出数　令和元年　83件　令和２年　89件　令和３年　84件 ・マタニティサポート登録者数　令和元年　82件　令和２年　82件　令和３年　75件 ・搬送数　令和元年　15件　令和２年　14件　令和３年　20件
分析 Check	・妊娠届出者のほどんどはマタニティサポートに登録しており、高い登録者数を維持している。
今後の方向性 Action	・妊娠届出時に加え、ホームページや広報での周知を継続する。

総合戦略会議 委員意見	

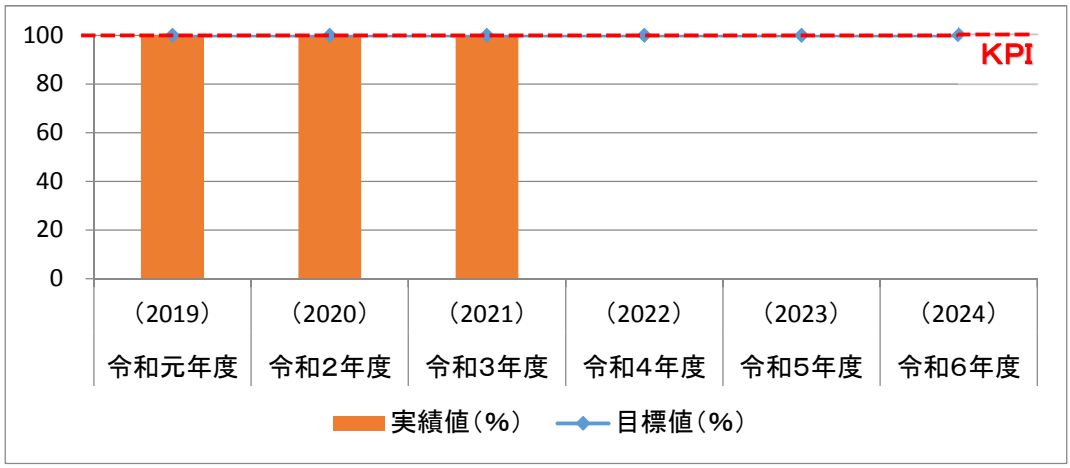
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標３ ３－２（２）	妊娠、出産へ向けた支援体制	担当課
概要	妊産婦やその家族が安心して出産、育児に向かうことができるよう教室や訪問等による支援体制の充実を図る。	保健センター こども支援課

進捗状況	ＫＰＩ	町内乳幼児の把握	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	100 %
			目標値 令和６年度（2024）	100 %



	令和元年度 （2019）	令和２年度 （2020）	令和３年度 （2021）	令和４年度 （2022）	令和５年度 （2023）	令和６年度 （2024）
目標値（%）	100	100	100	100	100	100
実績値（%）	100	100	100			
目標達成率	100%	100%	100%			
ＫＰＩ評価	○	○	○			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・妊婦訪問実績　令和元年　17件　令和２年　28件　令和３年　85件 ・マタニティクラス　令和元年　実15名　延44件　令和２年　実8名　延20件 令和３年　実16名　延39件 ・こんにちは 赤ちゃん訪問　令和元年　実79件　延118件　令和２年　実98件　延108件 令和３年　実91件　延141件 ・子育て支援センター業務実績（令和３年度実績） 心理相談　25件、子育て相談　264件、ゆたぽんおたのしみ会　320名 赤ちゃんタイム　60名、おはなし会　53名、子育て講座　未実施
分析 Check	・妊婦訪問について、訪問前に検温、手洗いを行い、感染対策を講じて主に助産師が訪問を実施。対象者がほぼ訪問を受け入れたこと、訪問に従事できる助産師が増員されたことで訪問数が増加した。 ・マタニティクラスの案内を、妊娠20週すぎの妊婦訪問で行ったことで、参加申し込みの増加につながった。 ・令和３年度から産後ケア充実のため、赤ちゃん訪問を２回行うことを基本とした。そのため、延べ件数が増加した。 ・育児不安や子育てにストレスを感じる母親への支援を行うため、子育てに関する相談、指導、情報提供を実施する。
今後の方向性 Action	・妊娠届出時に妊婦訪問とマタニティクラスの周知を継続する。 ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、講座等の開催を実施した。今後も感染症対策を図り講座等開催していきたい。

総合戦略会議 委員意見	

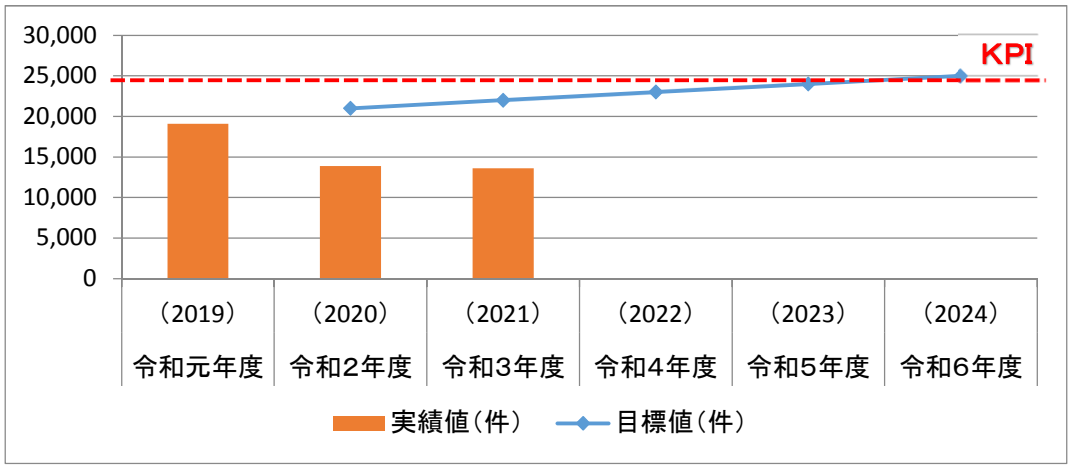
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標３ ３－２（３）	切れ目のない財政支援	担当課
概要	妊娠、出産、子育てに係る経済的負担を軽減するための支援を強化する。	こども支援課 保健センター

進捗状況				
	ＫＰＩ	小児医療費助成申請件数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	21,108 件
			目標値 令和６年度（2024）	25,000 件



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（件）	－	21, 000	22, 000	23, 000	24, 000	25, 000
実績値（件）	19, 097	13, 888	13, 595			
目標達成率	－	66%	62%			
ＫＰＩ評価	－	△	△			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・小児医療費助成（令和３年度） 件数：13, 595件　医療費助成額：28, 825, 100円 ・特定不妊治療費助成　令和元年度　９件　令和２年度　15件　令和３年度　12件 ・不育治療費助成　令和元年度　１件　令和２年度　０件　令和３年度　１件
分析 Check	・子どもたちの健全育成を目的とするもので、安心して医療を受けることの出来る環境を整えるため、継続して実施する必要がある。 ・小児医療費の助成については、自治体間競争に陥っていることから、国または県域全体の施策として捉えることが必要。 ・特定不妊治療費助成は、コロナ特例の経過措置として、令和２年度に限り助成対象年齢が１歳引き上がった。 ・令和３年度から事実婚も助成対象としたが、該当者の申請はなかったため、令和２年度より減少した。
今後の方向性 Action	・制度的な統一を全国的に構築するよう国・県へ引き続き要望していく。 ・今後も継続して制度の周知に努める。

総合戦略会議 委員意見	

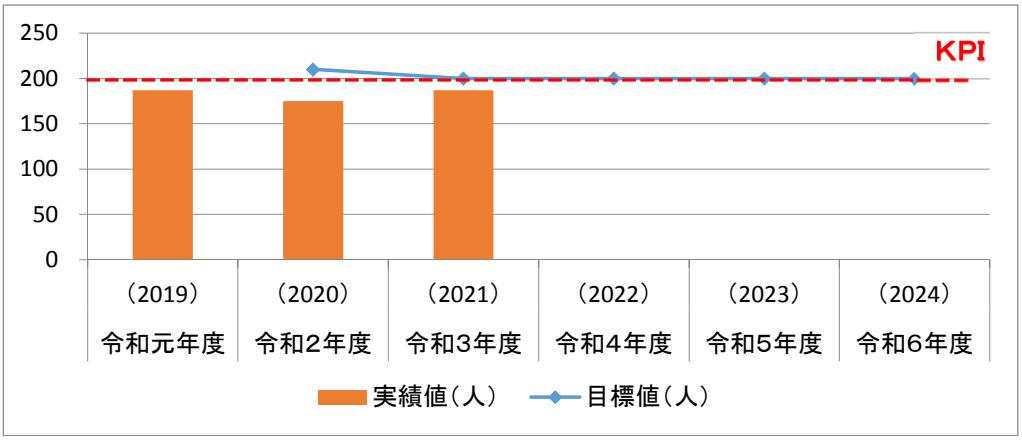
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標３ ３－３（１）	ファミリーサポートセンターの活用促進	担当課
概要	子育て中の家庭を地域で応援していくため、育児の援助を受けたい人と援助を行いたい人とがお互いに助け合う、子育ての相互援助活動を推進する。	こども支援課

進捗状況	ＫＰＩ	登録者数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	180 人
			目標値 令和６年度（2024）	200 人



	令和元年度（2019）	令和２年度（2020）	令和３年度（2021）	令和４年度（2022）	令和５年度（2023）	令和６年度（2024）
目標値（人）	－	210	200	200	200	200
実績値（人）	187	175	187			
目標達成率	－	83%	85%			
ＫＰＩ評価	－	○	◎			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・会員数 ファミリー会員：114名、サポート会員：73名　　合計187名 活動件数：293件
分析 Check	・保育園、学童保育等の送迎や習い事の送迎、学校行事や冠婚葬祭などの預かり、産前産後の家事支援や沐浴の手伝いなど、子育ての相互援助活動を実施する。
今後の方向性 Action	・子育てを取り巻く環境にあわせ、利用者ニーズの把握に努める。

総合戦略会議 委員意見	

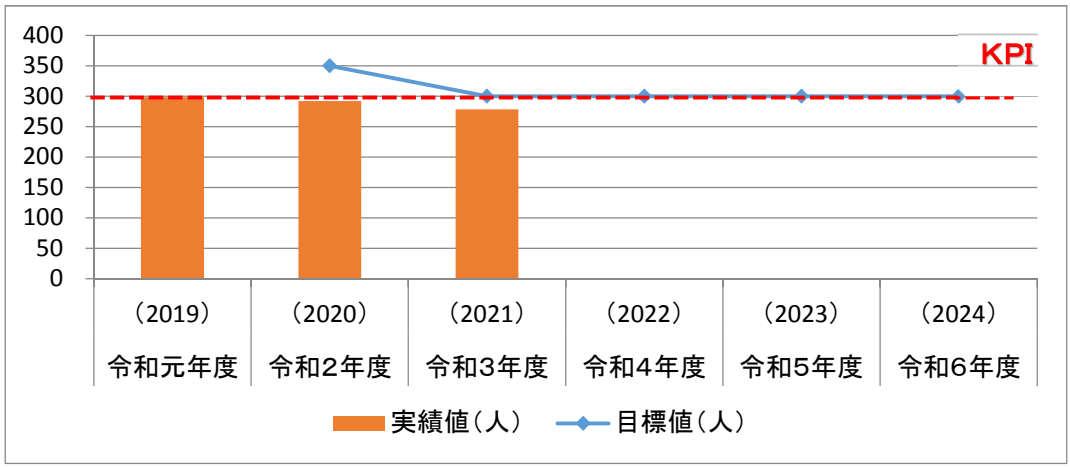
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標３ ３－３（２）	利用しやすい保育所の運営	担当課
概要	核家族や夫婦共働きの家族が増加している中で、安心して子どもを預けることのできる保育所として預かり時間の延長や一時保育、０歳児の受入を実施し、保護者が仕事を辞めずに育児ができるよう支援する。	こども支援課

進捗状況	ＫＰＩ	町立保育園園児数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	321 人
			目標値 令和６年度（2024）	300 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	－	350	300	300	300	300
実績値（人）	298	292	278			
目標達成率	－	83%	77%			
ＫＰＩ評価	－	△	△			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・土曜日保育を２園の合同保育で実施。まさご保育園、たちばな保育園で０歳児の受入月齢をおおむね7か月を継続した。
分析 Check	・土曜日保育を合同にすることにより、職員の勤務体制の改善が図られた。今後も働き方改革に留意する必要がある。
今後の方向性 Action	・利用者の多様なニーズに対応し、安心安全な保育所の運営を実施する。

総合戦略会議 委員意見	

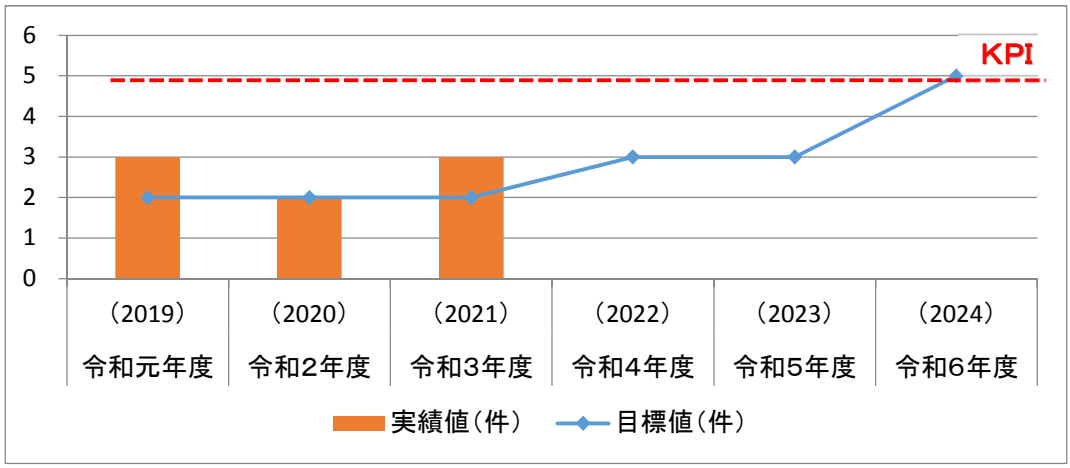
総合評価	○	取組みの継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標３ ３－３（３）	教育環境の整備	担当課
概要	情報教育の充実や先進的な外国語教育の推進など、小中学校における教育レベルの向上を図り、魅力ある学校づくりを進めるとともに、確かな学力と自ら学び自ら考える「生きる力」を育む教育を推進する。	学校教育課

進捗状況	ＫＰＩ	小中学校の交流事業数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	２ 件
			目標値 令和６年度（2024）	５ 件



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（件）	2	2	2	3	3	5
実績値（件）	3	2	3			
目標達成率	150%	100%	150%			
ＫＰＩ評価	◎	○	◎			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・現在、小中学校間での交流として次の３つの事業があるが、令和３年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、③が中止となった。 ①子どもフォーラム、②夏休みのラジオ体操、③部活動交流（中学校吹奏楽部による小学校運動会での演奏等） ・令和２年度末よりＧＩＧＡスクール構想構築を推進しており、現在、小中学校４校では一人に１台、クロムブックと呼ばれる教育用情報端末が貸し出されており、感染症拡大により、学級閉鎖や臨時休校が起こった際にも、家庭で授業を受けられるよう、整備を進めている。 ・①～③以外に、令和３年度においては、当町の小学校と三原市の小学校とでオンラインによる交流授業を行った。
分析 Check	・学級閉鎖や臨時休校が起こった際にも、クロムブックを使用し家庭で授業を受けられるよう整備しているが、今後も学校や町で情報共有し、各学校に適した情報機器を整備し、特色ある授業を推進する。
今後の方向性 Action	・教育用情報端末の使用方法や、授業での活用方法を指導する外部講師から助言をいただき、ＩＣＴ教育をより推進するものとする。 ・ＰＴＡ、地域の方々及び教職員で組織した学校運営協議会を設置し、地域との組織的な連携・協働体制を継続できる体制を構築する。

総合戦略会議 委員意見	

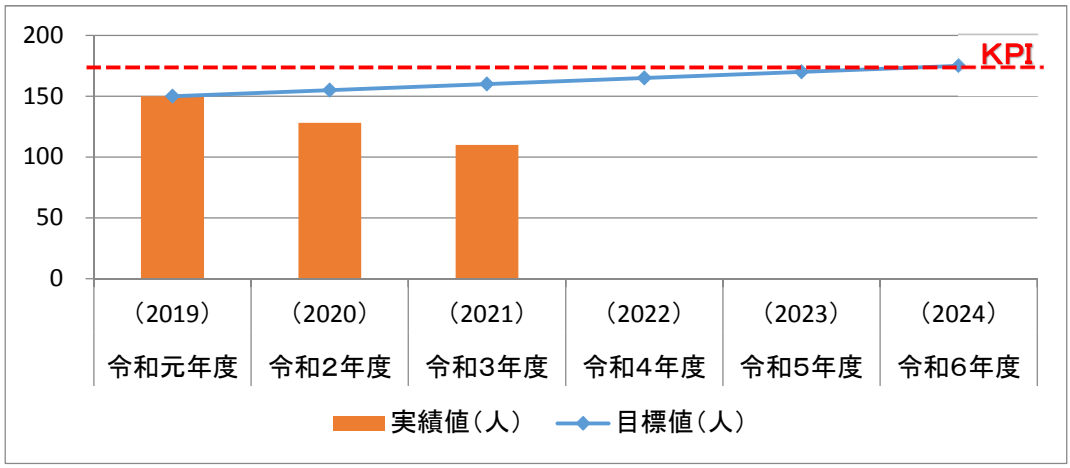
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標３ ３－３（４）	学童保育所や子ども教室の活用	担当課
概要	保護者が仕事をしながら子育てができるよう、「学童保育所」や「放課後子ども教室」を開設し、放課後の子どもの安全で健やかな活動場所を確保するとともに、異なった年齢集団の中で社会性を身に着け一人ひとりの子どもたちが健全に成長するよう手助けする。	社会教育課

進捗状況	ＫＰＩ	放課後子ども教室登録児童数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	125 人
			目標値 令和６年度（2024）	175 人



	令和元年度（2019）	令和２年度（2020）	令和３年度（2021）	令和４年度（2022）	令和５年度（2023）	令和６年度（2024）
目標値（人）	150	155	160	165	170	175
実績値（人）	150	128	110			
目標達成率	100%	83%	69%			
ＫＰＩ評価	○	○	△			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・３小学校において、コーディネーター及び活動推進員が中心となり企画を行い、活動サポーターも加わることで見守りを行っている。宿題やドリル学習のほか様々な体験学習に取り組んでいる。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により約４か月から５か月、閉所となった。
分析 Check	・低学年の参加が多く、高学年になると減少する傾向にあるが、学習等の取組や体験学習を工夫することで、高学年の参加が増えている教室もある。
今後の方向性 Action	・新型コロナウイルス感染症対策を講じるだけでなく、引き続き、安全・安心な運営を行う必要がある。 ・高学年の児童も参加したくなるような学習や体験学習を織り交ぜるなど工夫いただくことで、各教室の特色ある取組を検討する必要がある。
総合戦略会議 委員意見	

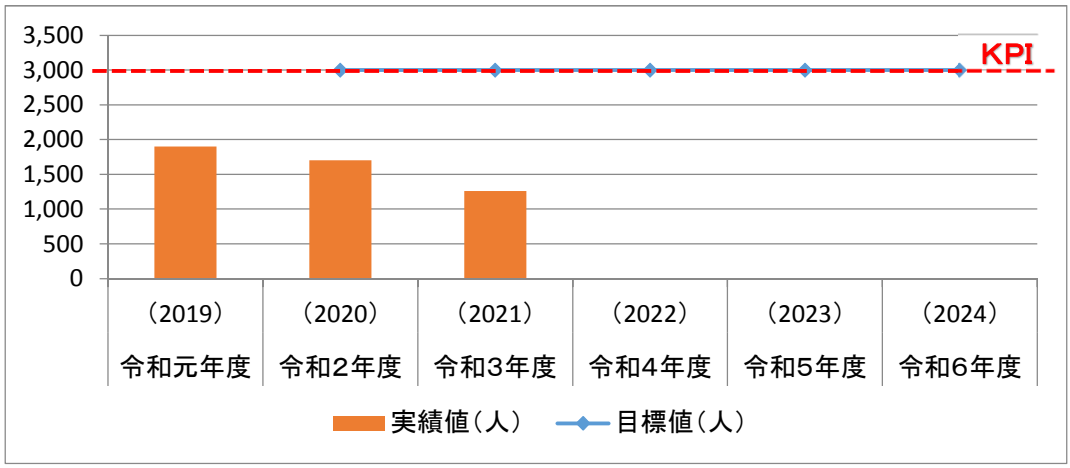
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標４ ４－１（１）	多世代交流による若者の人口減少抑制	担当課
概要	子どもたちの学習支援を目的に、地域の高齢者ボランティアや大学生を講師とした学習支援を実施し、すべての子どもに包括的かつ公平で質の高い学びの場を提供しながら、様々な世代が安心して集える多世代の居場所空間づくりを実施する。	こども支援課 地域政策課 介護課

進捗状況	ＫＰＩ	「ゆがわらっことつくる多世代の居場所」来所者数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	2,359 人
			目標値 令和６年度（2024）	3,000 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	－	3, 000	3, 000	3, 000	3, 000	3, 000
実績値（人）	1, 902	1, 703	1, 259			
目標達成率	－	58%	36%			
ＫＰＩ評価	－	△	△			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・講座開催事業・学習サポート事業　　1, 259名 ・現在の居場所（さくらんぼ公園付近）だけでなく、移住相談や雇用確保支援にて活用する駅前の拠点においても、多世代の交流ができるよう検討を行い、令和４年度からの運用を開始する。
分析 Check	・新型コロナウイルス感染症の影響により、開所日を減らしつつも、オンライン開催と通常オープンを併用し、実施した。 ・さくらんぼ公園付近と駅前の２拠点を設置したことにより、湯河原小学校区の児童が近場で通うことができるようになったが、その分学校間の交流が希薄化してしまう懸念がある。 ・２拠点においても、多世代の交流が今後とも継続してできるよう、人材確保が課題となることが予想されるので、町や関連機関の協力を充実する必要がある。
今後の方向性 Action	・新型コロナウイルス感染症の影響により、大学生スタッフが移動制限で通えないことがあり、地元スタッフの確保が必要である。また、高校生スタッフを育成することにより、運営の手伝い、学びのコンテンツの作成を行い、活動を通して自らの活動を広げ、大学進学等につながる問題意識や意欲を醸成する。 ・駅前拠点の施設及び設備の充実を図るため、リノベーションを行う。子どもの居場所という観点からも、子どもたちと協力しながら行うことで自立性や協調性を図るものとする。

総合戦略会議 委員意見	

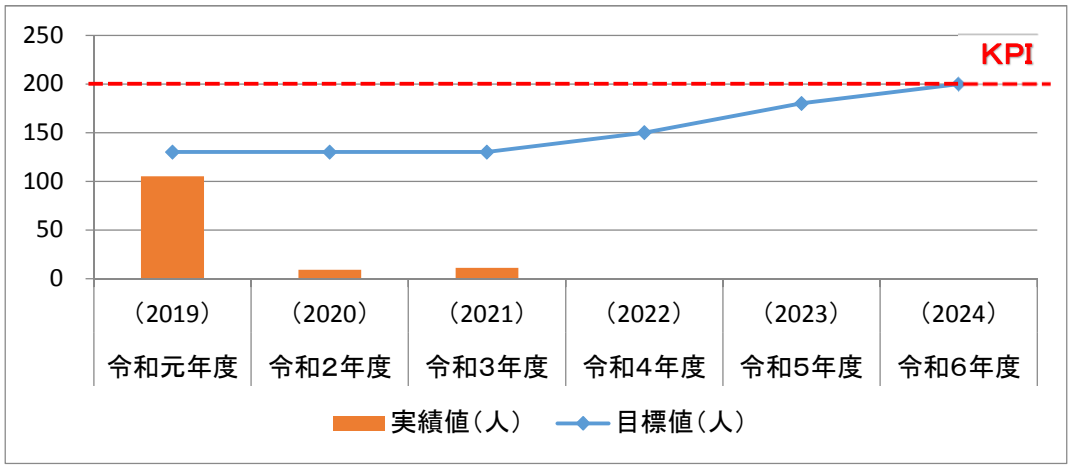
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標４ ４－１（２）	子どもフォーラムの開催	担当課
概要	小学生、中学生、保護者、教職員、地域の方々などの幅広い参加のもと、目標実現のための話し合い活動や交流を深めるためのアクティビティを実施し、「笑顔あふれる最高の楽校（がっこう）」の実現を目指す。	学校教育課

進捗状況	ＫＰＩ	フォーラム参加者数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	108 人
			目標値 令和６年度（2024）	200 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	130	130	130	150	180	200
実績値（人）	105	9	11			
目標達成率	81%	7%	14%			
ＫＰＩ評価	△	△	△			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・子どもフォーラムは、「ゆがわらっこ（湯河原町在住の児童・生徒のこと）」による活動の場を設定することで、小・小の連携、小・中の接続を意識した取組を行うことを目的としており、今回はダンスワークショップや、オンラインで外国の人との交流を実施した。 ・当初は、ロゲイニング、屋外でのスポーツ交流を含めて、年６回、実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖や臨時休校により、開催が延期となり、令和３年１月に一度、開催することができた。
分析 Check	・令和２年度までは、児童生徒が主体となって活動テーマを決定していたが、感染症による学級閉鎖や臨時休校により、児童生徒が集まり会議を行うこと自体が難しく、令和３年度については、事務局で実施内容を決定し、参加者を募る形に変更した。今後、感染症対策を講じた上で、実施内容や活動方法を検討する必要がある。
今後の方向性 Action	・「笑顔あふれる最高の“楽校”（平成23年度湯河原町子どもフォーラム宣言）」を実現するため、町として地域住民、事業所及び関係機関に協力を依頼し、「ゆがわらっこ」による活動を推進する。

総合戦略会議 委員意見	

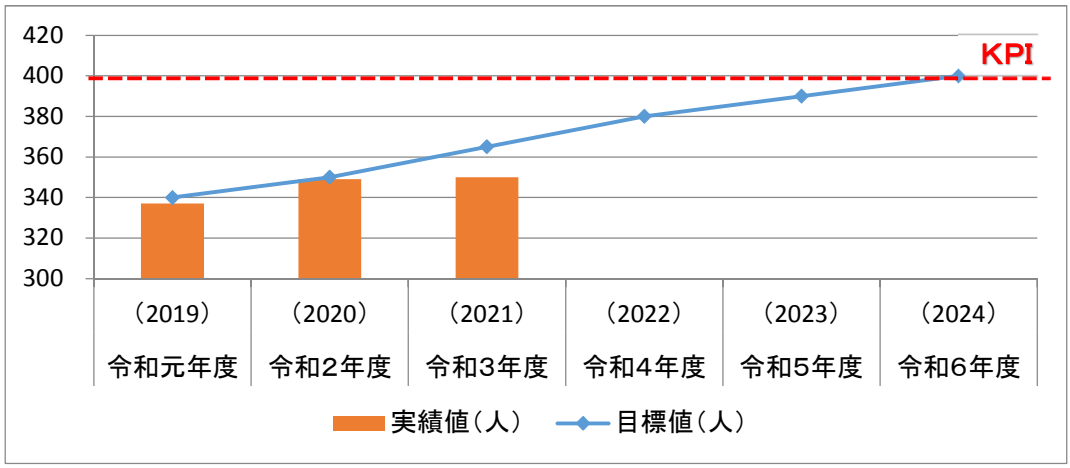
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標４ ４－１（３）	外国人住民との交流推進	担当課
概要	今後ますます増加が見込まれる外国籍住民が湯河原町で安心して暮らしていけるよう、外国籍住民相談員の積極的な活用と、民間の国際交流団体と連携した取り組みを検討・実施する。	地域政策課

進捗状況	ＫＰＩ	外国籍住民数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	326 人
			目標値 令和６年度（2024）	400 人



	令和元年度（2019）	令和２年度（2020）	令和３年度（2021）	令和４年度（2022）	令和５年度（2023）	令和６年度（2024）
目標値（人）	340	350	365	380	390	400
実績値（人）	337	349	350			
目標達成率	99%	99%	96%			
ＫＰＩ評価	○	○	○			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・外国籍住民相談員12名が所属。 ・令和３年度の外国籍住民相談の実績は０件。 ・外国籍住民との異文化交流・情報の共有の場として実施した「地球民ラウンジ」では、コロナ禍での生活相談や言語翻訳、日本語学習に関する相談などを受け付けた。
分析 Check	・外国籍住民相談だけでなく、民間の国際交流協会と連携することで、気軽に相談することができる環境整備を整えることができた。
今後の方向性 Action	・各相談事業を引き続き実施する。
総合戦略会議 委員意見	

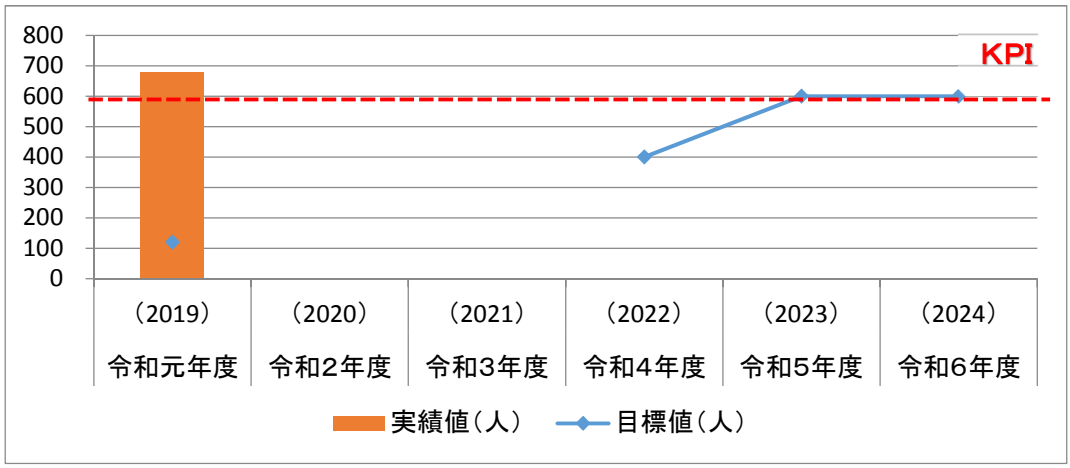
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標４ ４－２（１）	「未病を改善する」取組の推進	担当課
概要	神奈川県と湯河原町を含む県西地域の２市８町で連携し、神奈川県が第1期県西地域活性化プロジェクトに位置づけている「未病を改善する」取組を促進するため、湯河原の恵まれた地域資源を活用し「温泉」「運動」「食事」「自然」「芸術」を取り入れた健康づくりにより、地域の活性化と地域住民の健康寿命の延伸を図る。	地域政策課 保健センター 介護課

進捗状況	ＫＰＩ	「未病のみえる化コーナー」の年間利用者数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	533 人
			目標値 令和６年度（2024）	600 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	120	－	－	400	600	600
実績値（人）	677	－	－			
目標達成率	564%	－	－			
ＫＰＩ評価	◎	△	△			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和３年度は未病コーナーは休止 ・高齢者等の外出・ふれあいの機会を増やすことで心と身体の健康増進が図れるよう、駅周辺の温泉施設の利用券（2,364人利用）及びパークゴルフ場の無料利用券（832人利用）を配布した。 ・県西地域活性化プロジェクトの一環として、県が未病改善スポットの広域案内図を設置したほか、お散歩マップの作成を行った。
分析 Check	・周知方法や新たな健康増進を図るための場の提供が必要。 ・未病の戦略的エリアとしての認知度アップが図れた。
今後の方向性 Action	・新たな健康増進を図るための場を提供する。 ・今後も神奈川県と２市８町で連携し、「未病を改善する」取組を推進する。

総合戦略会議 委員意見	

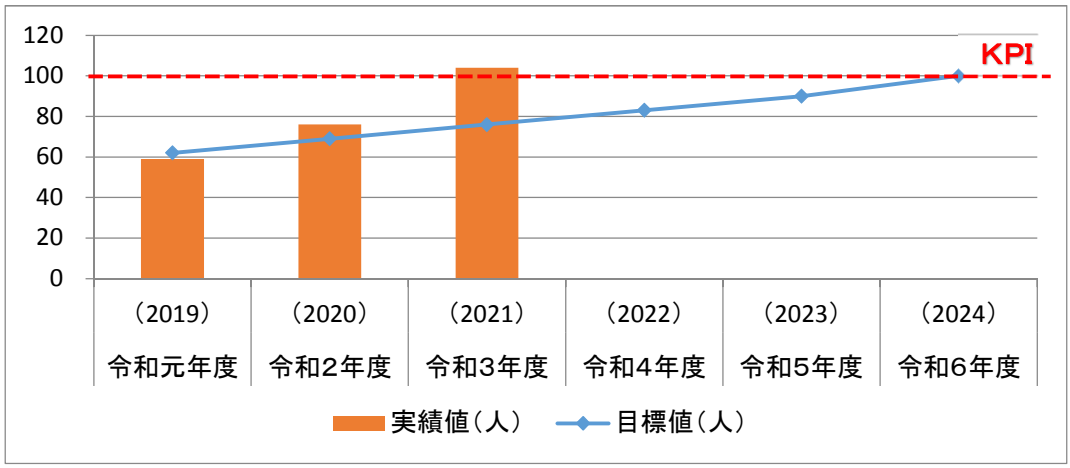
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標４ ４－２（２）	介護予防サポーターの育成	担当課
概要	多様化する高齢者に対応した医療介護連携の体制や認知症施策の推進、生活支援体制整備などを網羅した地域包括ケアシステムの構築に向けて、町民の理解、協力を得ながら更なる拡充を図る。	介護課

進捗状況	ＫＰＩ	介護予防サポーター数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	55 人
			目標値 令和６年度（2024）	100 人



	令和元年度（2019）	令和２年度（2020）	令和３年度（2021）	令和４年度（2022）	令和５年度（2023）	令和６年度（2024）
目標値（人）	62	69	76	83	90	100
実績値（人）	59	76	104			
目標達成率	95%	110%	137%			
ＫＰＩ評価	△	◎	◎			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・対象者の居宅や通いの場（サロン）において、介護予防を目的として、住民主体によるサービスが行えるよう、生活支援・通いの場サポーター養成講座を実施した。 ・サポーターのモチベーションが継続できるようフォローアップ研修を実施した。 ・住民主体による通いの場（サロン）を立ち上げた。
分析 Check	・住民主体によるサービスが継続して実施できるようサポーターをフォローアップする必要がある。
今後の方向性 Action	・住民主体による自主活動としてサービスを継続して実施できるよう、フォローアップ研修を実施する。
総合戦略会議 委員意見	

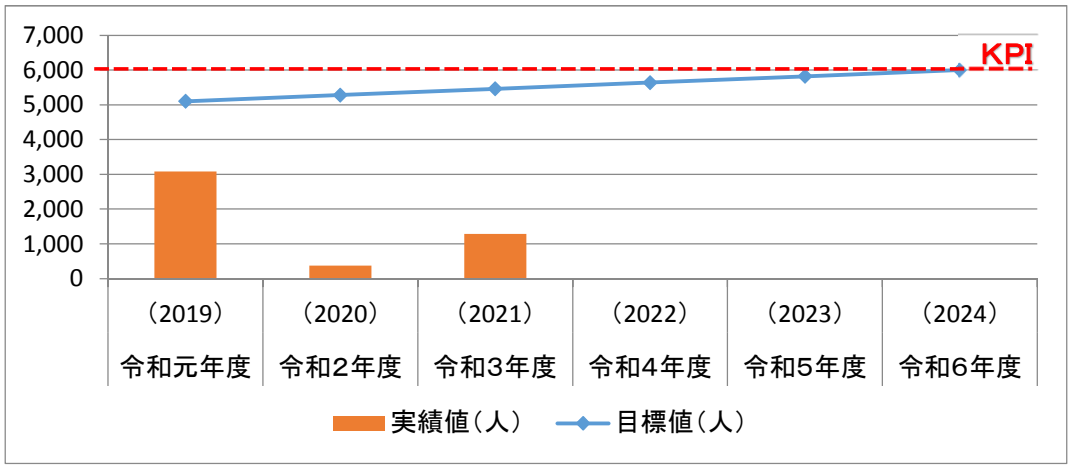
総合評価	◎	取組の深化・発展

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標４ ４－２（３）	趣味、サークル活動の推進	担当課
概要	高齢者を対象とした健康・介護予防教室の開催、趣味・サークル団体の案内などを充実させ、併せて、障がい者のサークル活動やボランティア活動の周知を行い、社会参加を促すことで生きがいの創出へつなげる。	介護課 社会福祉課

進捗状況	ＫＰＩ	高齢者を対象とした活動の参加者数（年間累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	4,919 人
			目標値 令和６年度（2024）	6,000 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	5, 099	5, 279	5, 459	5, 639	5, 819	6, 000
実績値（人）	3, 083	370	1, 286			
目標達成率	60%	7%	24%			
ＫＰＩ評価	△	△	△			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・新型コロナウイルス感染症予防のため、定員の縮小等を行いグループリビング（延39名）、布ぞうり教室（延169名）、手づくりを楽しもう会（延158名）、公園体操（延434名）、頭の体操教室（iPad）（延55名）、頭の体操教室（もの忘れ予防）（延64名）げんき応援教室（延102名）、お口の健康教室（15名）、転倒予防教室（延52名）、ふれあい料理教室（11名）、かんたんスマホ教室（112名）、訪問リハビリ事業（延26名）、フレイルチェック（延28名）を開催した。 ・手話奉仕員養成講座（入門課程）を開催し、手話に対する知識や理解を深めるとともに、講座の中において、手話サークルや各種福祉ボランティア等に関する情報提供を行った。 ※手話奉仕員養成講座参加者(令和３年度：21名、令和２年度：15名)
分析 Check	・定員に満たない教室があるため、周知方法を見直す必要がある。 ・開催を見合わせている教室（老人クラブ体操、区会体操）があるため、開催できるよう検討する。 ・引き続き、手話奉仕員養成講座（基礎課程）を開催するとともに、福祉に関連するサークルやボランティア活動に関する情報の共有を図っていく必要がある。
今後の方向性 Action	・新型コロナウイルス感染症予防を行い、できるだけ多くの教室を開催する。 ・介護予防教室参加者を増加させるために地方紙等を活用し募集記事掲載だけでなく、開催している状況も取材してもらい周知を図る。 ・町主催の講座や「ゆがわら趣味百選」、サークルから発信される情報などを活用し、様々なサークル、ボランティアの活動への参加を促す。

総合戦略会議 委員意見	

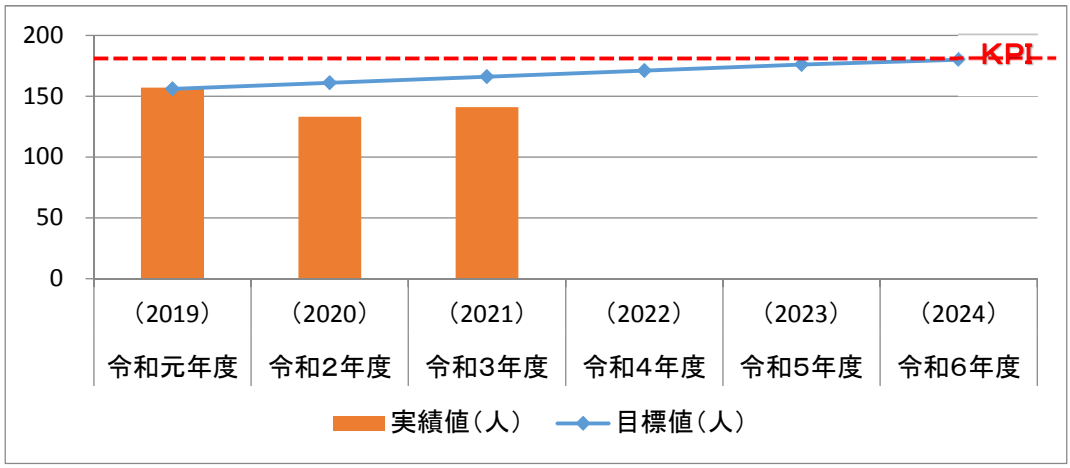
総合評価	△	取組の見直し

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標４ ４－２（４）	シルバー人材センターの活用	担当課
概要	これまで培ってきた知識や経験などを活かせる場の提供や、シルバー人材センターを広く周知することで、社会の担い手として活躍できる機会を確保・提供する。	介護課

進捗状況	ＫＰＩ	シルバー人材センター会員数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	151 人
			目標値 令和６年度（2024）	180 人



	令和元年度（2019）	令和２年度（2020）	令和３年度（2021）	令和４年度（2022）	令和５年度（2023）	令和６年度（2024）
目標値（人）	156	161	166	171	176	180
実績値（人）	157	133	141			
目標達成率	101%	83%	85%			
ＫＰＩ評価	◎	△	△			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・新たな活躍の場として、対象者の居宅において介護予防を目的に、生活支援サービス（訪問型サービスＢ）が行えるよう、生活支援サポーター定例会を実施した。
分析 Check	・継続して生活支援サービス（訪問型サービスＢ）の提供ができるよう生活支援サービスに携わる会員をフォローアップする必要がある。
今後の方向性 Action	・生活支援サービス（訪問型サービスＢ）の提供のためにフォローアップ研修を実施し、また他に社会の担い手として活躍できる機会を検討する。 ・シルバー人材センターの周知のため引き続き広報活動を実施する。
総合戦略会議 委員意見	

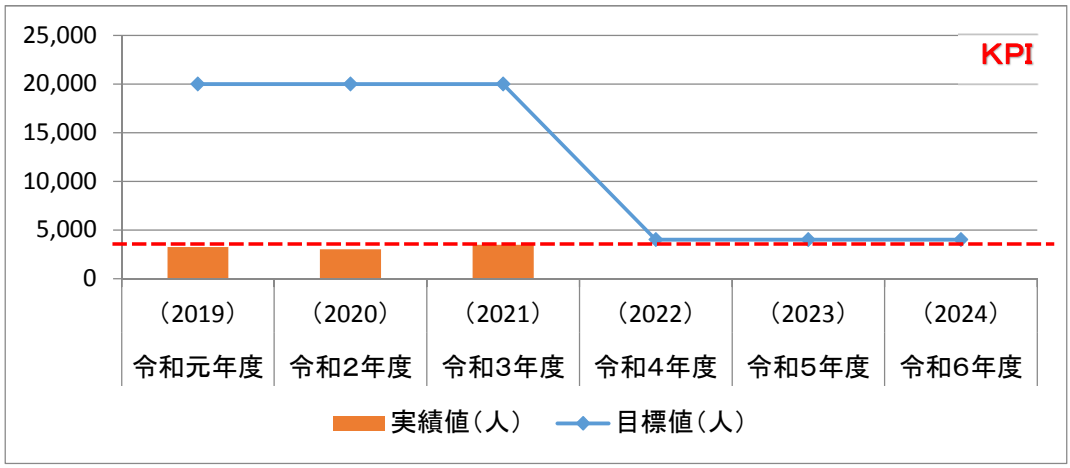
総合評価	△	取組の見直し

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標４ ４－２（５）	交通不便地域の解消	担当課
概要	町内の公共交通不便地域の解消を図るとともに民間の交通事業者の運転手不足によるバスの減便や経路縮小に対応するため、コミュニティバスや予約型乗合い交通「ゆたぽん号」を運行し、利用促進を図ることで高齢者などの交通弱者を含め多くの方が気軽に、安全にお出かけできる社会を実現する。	地域政策課 介護課 社会福祉課

進捗状況	ＫＰＩ	「ゆたぽん号」利用者数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	1,493 人
			目標値 令和６年度（2024）	4,000 人



	令和元年度 （2019）	令和２年度 （2020）	令和３年度 （2021）	令和４年度 （2022）	令和５年度 （2023）	令和６年度 （2024）
目標値（人）	20, 000	20, 000	20, 000	4, 000	4, 000	4, 000
実績値（人）	3, 228	2, 998	3, 465			
目標達成率	16%	15%	17%			
ＫＰＩ評価	○	○	○			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・令和３年度は、242日運行し、2, 138便で3, 465名の利用があった。 ・在宅重度障がい者等に買い物等の外出に利用できる福祉タクシー券を交付した。また、令和元年度から、福祉タクシー券で予約型乗合交通（ゆたぽん号）の利用を可能とし、障がい者等への利便性の向上を図った。（令和３年度：９件、令和２年度：８件） ・障がい福祉サービス（身体介護・家事援助）の活用により、通院等介助、買い物代行支援及び買い物同行支援を行った。
分析 Check	・乗車密度は目標1. 3人に対して1. 62人、稼働率は目標30%に対して31. 6%と、ともに目標を達成した。 ・エリア別の利用者実績では、オレンジラインエリアが86%、次いで温泉場エリアが９%、福浦エリアが４%、鍛冶屋エリアが１%と、地域により利用に偏りが生じている。 ・福祉タクシー券の利用や障がい福祉サービス（身体介護・家事援助）の活用により、障がい者等の通院及び買い物等の外出支援に対する利便性の向上が図られている。
今後の方向性 Action	・目標値に少しでも近づけるよう、利用率の低い鍛冶屋エリアと福浦エリアについて住民と意見交換を行い、利用を促進する。 ・引き続き事業を継続し、障がい者等に対し、通院及び買い物等のための外出機会の確保や支援を行う。

総合戦略会議 委員意見	

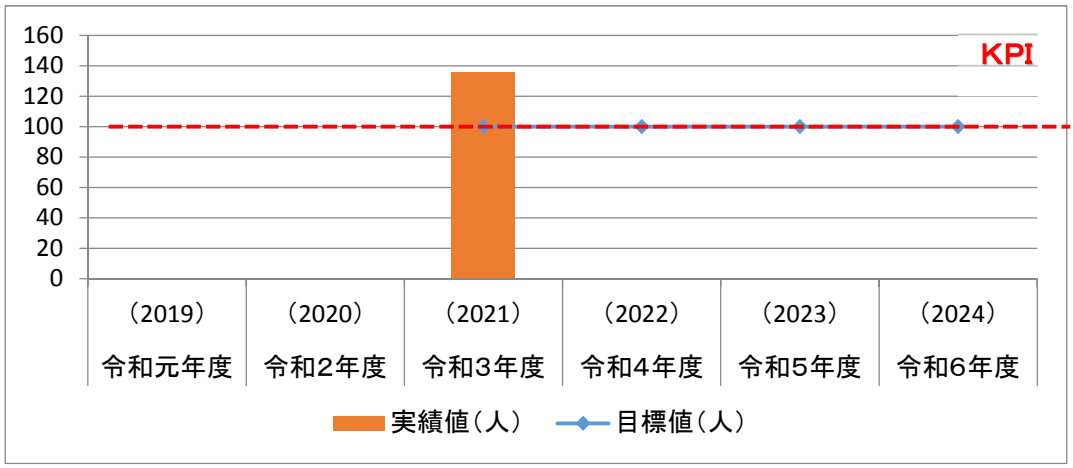
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標４ ４－３（１）	地域会館を活用した遊び場づくり	担当課
概要	地域会館などの既存の建物を活用し、日を限定して屋内の遊び場として提供する。	社会福祉課 社会教育課

進捗状況	ＫＰＩ	施設利用者数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 人
			目標値 令和６年度（2024）	100 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	―	―	100	100	100	100
実績値（人）	―	―	136			
目標達成率	―	―	136%			
ＫＰＩ評価	×	×	◎			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・すでに一部の会館ではサロンとして主に高齢者が、囲碁・カラオケ等の利用により、コミュニケーションを図る場として活用されている。 ・各小学校区にある会館（門川会館、文化福祉会館、川堀会館）を活用し、地域住民の協力のもと、子ども向け、一般向けの講座等を開催している。
分析 Check	・地域福祉会館の開放に当たっては、区会や一般利用の貸出との調整、開放可能な部屋等の選定、利用に係る安全管理体制の確保などについて、検討が必要である。 ・地域福祉会館の遊び場としての開放に当たっては、一般利用の貸出との調整、解放可能な部屋等の選定等の検討が必要である。
今後の方向性 Action	・地域会館が遊び場として開放しての利用が可能かどうか検討を行う。 ・理体制の構築など、課題を解決していく必要がある。

総合戦略会議 委員意見	

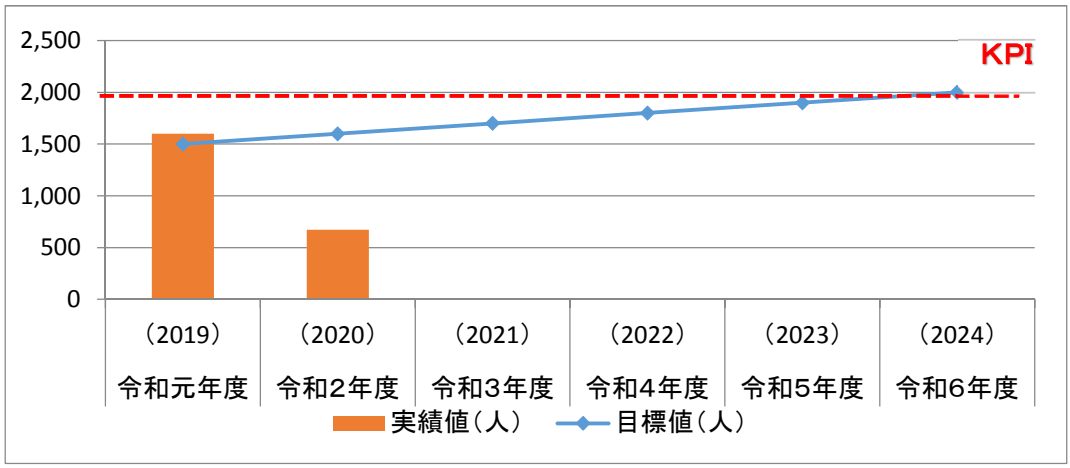
総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和３年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標４ ４－３（２）	地域防災力の強化	担当課
概要	地域防災の中心的な役割を果たす自治会の自主防災組織の取組みを支援するとともに湯河原町消防団の充実を図り、町民の防災意識の啓発や地域防災力の向上を図る。	地域政策課 消防本部

進捗状況	ＫＰＩ	総合防災訓練参加者数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	1,599 人
			目標値 令和６年度（2024）	2,000 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	1, 500	1, 600	1, 700	1, 800	1, 900	2, 000
実績値（人）	1, 599	671	－			
目標達成率	106%	41%	－			
ＫＰＩ評価	◎	△	△			

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い総合防災訓練を中止。 ・消防団員の処遇改善として、年額報酬及び出動報酬の引上げを行った。 ・現状の消防団員数に見合った定員への見直しを図った。 ・新型コロナウィルス感染症対策として、各分団に消毒液及びマスクの支給を行った。 ・各分団からの要望に基づく活動用資器材の支給を行った。 ・消防団協力事業所に対し、協力事業所表示証の交付を行った。
分析 Check	・町民の防災意識の向上を図るため、防災コミュニティセンターにおいて、ハザードマップ及び防災物品の掲示を実施。 ・新型コロナウイルス感染症に配慮した避難所の開設・運営について、訓練が必要。 ・団員数の維持、増加のために、現消防団員から活動内容についての実態を把握し、入団に至るまでの課題や入団後に退団を意識する要因となる部分の解消をする必要がある。
今後の方向性 Action	・新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所の開設・運営マニュアルの作成。 ・新型コロナウイルス感染症収束後の総合防災訓練の実施要領の見直し。 ・消防団員の被服や活動用資器材、車両の整備及び消防団詰所の改修などを計画的に実施する中で、消防団活動における環境改善を図っていく。 ・消防団活動に理解・協力してもらえる事業所数の拡大を図っていく。

総合戦略会議 委員意見	

総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合